

安曇野市環境基本計画

～みんなで安曇野の環境を考えよう～

平成 25 年度 年次報告書

平成 26 年 3 月

安 曇 野 市

－ 目 次 －

1 平成 25 年度の取り組みの概要.....	2
2 平成 25 年度の取り組み結果.....	3
2.1 環境基本計画推進会議.....	3
2.1.1 会議の開催状況.....	3
2.1.2 会議の成果.....	5
2.2 安曇野環境市民ネットワーク.....	6
2.2.1 概要と事業内容.....	6
2.2.2 平成 25 年度の経過.....	7
2.2.3 加盟団体の活動状況.....	9
2.3 環境基本計画庁内調整会議.....	10
2.4 環境審議会.....	11
2.5 安曇野環境フェア 2013.....	12
2.5.1 開催のねらい.....	12
2.5.2 開催概要.....	12
2.5.3 準備スケジュール.....	13
2.5.4 印刷物等の資料作成.....	14
2.5.5 助成などについて.....	14
3 行動計画実施結果.....	15
3.1 行動計画について.....	15
3.2 重点プロジェクトの一覧.....	15
3.3 各重点プロジェクトの結果.....	18
4 次年度へ向けて.....	43
4.1 市全体のテーマの進行.....	43
4.2 第二次環境行動計画に基づく実施計画の作成.....	43
4.3 重点プロジェクトの推進.....	44

○資料編：環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

■ はじめに

安曇野市は、平成 19 年度に策定した安曇野市環境基本計画に基づき、計画の実施を推進するとともに、進捗状況の確認と評価を行って参りました。

迎えた当平成 25 年度は、環境基本計画の計画期間における、後半のスタートの年度として、中間の計画見直しが図られた年次計画の推進をして参りました。

安曇野市環境基本計画の推進に関しましては、その諸施策や行動計画の達成状況は、概ね計画に沿って、着実に進捗していることを確認し、良好と評価致しました。

評価に関して、評価がやや甘いのではとか、もっと具体的に、盛りだくさんの目標の設定を求める意向があることは承知をしておりますが、市民、事業者、行政のそれぞれにおいて、極端な無理をせずに、倦まずたゆまぬ、息の長い取り組みができることこそが肝要と、一步一步前進を図る所存であります。皆様と共に携えあって、田園産業都市安曇野市の環境を守り、育みましょう。

平成 26 年 3 月

安曇野市環境基本計画推進会議

会 長 千 國 温

1 平成 25 年度の取り組みの概要

平成 19 年度に策定された安曇野市環境基本計画（以下「環境基本計画」という。）では、平成 20（2008）年度から平成 29（2017）年度までを計画期間と定められました。

安曇野市環境行動計画（以下「行動計画」という。）は、環境基本計画で取り上げられている取り組みのうち、特に重点的・優先的に行う必要のある項目がまとめられていますが、環境基本計画の計画期間の前半にあたる平成 25 年までを目標期間として、第一次行動計画が策定されました。

平成 25 年度は、第一次行動計画の最終年度に当たるため、環境基本計画推進会議において第一次行動計画で定められた重点プロジェクトの取り組み状況を振り返り、平成 26 年度以降に取り組む内容を定めた第二次行動計画を策定する際の情報整理を行いました。

また、6 回目となる「安曇野環境フェア 2013」が開催され、市民への幅広い展開を図るため、会場デザインも例年どおりの配置を変更し、一体感や連帯感を生み出せるよう配慮しました。2 日間で約 1500 名の来場者が訪れ、盛況な結果となりました。

表 1 に、平成 25 年度における取り組みの概要を示します。

表 1 平成 25 年度の取り組みの概要

区分	名称	内容
推進体制	環境基本計画 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 計 9 回の会議を開催した。 年次計画の策定、進捗状況の把握、年次報告書のとりまとめをおこなった。 第二次環境行動計画について検討した。
	安曇野環境市民 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野環境フェア 2013 の開催協力をおこなった。
	環境基本計画 庁内調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取り組みについて確認した。 歩いて楽しいまちづくりプロジェクト 第二次安曇野市環境行動計画 安曇野市版レッドデータブック 安曇野市地球温暖化防止実行計画
	環境審議会	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画平成 24 年度年次報告書の承認 第二次安曇野市環境行動計画（案）の審議 安曇野市版レッドデータブック（案）の審議
イベント等	安曇野環境 フェア 2013	<ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 10 月 12 日、13 日の 2 日間にわたり開催した。 64 団体・個人等による出展があり、2 日間で約 1,500 名の方が来場した。

2 平成 25 年度の取り組み結果

2.1 環境基本計画推進会議

2.1.1 会議の開催状況

環境基本計画を推進する主体である「環境基本計画推進会議」は、市民・事業者・行政の取り組みの施策・事業における提案、計画推進のための啓発活動や支援、進捗状況の点検・評価と年次報告の作成を主な目的としています。委員は、事業団体の推薦を受けた者、環境保全活動団体の推薦を受けた者、公募により選考された市民、市長が必要と認めた者（環境基本計画策定委員経験者）からなる 15 名で構成されています。

平成 25 年度は、「環境行動計画」で策定された重点プロジェクトを推進するため、年次計画の策定から実施状況の把握、平成 25 年度の評価等について、9 回の推進会議を開催しました。また、このほかにもワーキンググループ（WG）ごとの会合も開かれています。

WGの編成を表 2 に、推進会議等の経過を表 3 に示し、重点プロジェクトの実施状況については、「3-3. 各重点プロジェクトの結果」にまとめました。

表 2 ワーキンググループ（WG）の編成

WG名	対象の重点プロジェクト
自然・環境教育	②生物多様性を維持する ③森づくりを推進する ⑩環境について教え学び、取り組む仕組みづくり
景観・まちづくり	④緑化による環境負荷の低減 ⑤歩いて楽しいまちづくり
資源・エネルギー	⑧豊かな地下水を保全する ⑨ごみを減らそう
農 業	⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る ⑦地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
地球温暖化対策	①CO ₂ の排出量を削減する ⑪環境マネジメントシステム（EMS）の導入

表 3 安曇野市環境基本計画推進会議の経過

日 時	会議名称	内 容
平成 25 年 4 月 24 日	第 10 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度年次報告書を承認した。 ・平成 25 年度実施計画について検討した。 ・第二次行動計画について検討した。 ・年次テーマについて検討した。 ・安曇野市環境基本計画 改訂版の修正事項について確認した。
5 月 21 日	第 11 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・年次テーマについて検討した。 ・重点プロジェクトの絞込みについて検討した。 ・安曇野市環境基本計画 改訂版の修正事項について確認した。
6 月 25 日	第 12 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次行動計画について検討した。 ・実施プログラムについて検討した。
8 月 19 日	第 13 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制について検討した。 ・実施プログラムについて検討した。
9 月 24 日	第 14 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・実施プログラムについて検討した。(WG ごと及び全体)
10 月 30 日	第 15 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次行動計画(案)を検討した。
11 月 26 日	第 16 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次行動計画(案)を検討した。 ・区長会への報告等について確認した。
平成 26 年 2 月 4 日	第 17 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次行動計画(案)を検討、確認した。 ・年次報告書(案)と新年度年次計画書(案)・点検評価書について検討した。
3 月 11 日	第 18 回 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書(案)と新年度年次計画書(案)について検討した。

2.1.2 会議の成果

(1) 「市全体のテーマ」について

「市全体のテーマ」とは、安曇野市の環境をより良くするために、市民・事業者・行政の各主体が積極的に取り組む共通テーマであり、共通の目標に向かって各主体が取り組むことにより、目に見える形で成果が上がることを期待しています。「市全体のテーマ」を現在進行中の重点プロジェクトとリンクさせるとともに、環境フェアや各種生涯学習講座との連携をはかって目に触れる機会を増やすことにより、市民など様々な人々の関心を高め、取り組みへの機運が高まることを目的としています。

「市全体のテーマ」は、以下の2つです。

年次テーマ 『安曇野の環境を知り、育み、伝える』 ～みんなで広げよう活動の輪～

【選定の理由】

- ・平成23・24年度の年次テーマは『安曇野の水を知り、守り、育む』でした。これに対する取り組みは、一定の成果が上がりつつあります。平成25年度からはより広い「環境の取り組み」をテーマとしました。
- ・現在すでに活動している人、これまで活動していなかった人、個人（我（わ））・仲間（輪（わ））が広がり（環（わ））、協調（和（わ））し、それぞれが繋がって「活動の輪（わ）」を広げます。
- ・これにより、市民自らの手で安曇野の環境をより良くしていくことを目指します。

長期テーマ 『地球温暖化防止にみんなで取り組む』

【選定の理由】

- ・地球温暖化による気温の上昇はすでに実感として感じられるようになってきており、地球温暖化防止は地球全体で取り組むべき課題と言えます。
- ・地球温暖化は地球規模の環境問題ですが、防止のためには日々の暮らしや営みの中で地道に取り組む必要があることから、安曇野市環境基本計画の期間を通じた共通のテーマとして、継続的に取り組みます。

【関連する重点プロジェクト】

- CO₂削減目標を設定する
- 森づくりを推進する
- 緑化による環境負荷の低減

2.2 安曇野環境市民ネットワーク

2.2.1 概要と事業内容

「安曇野環境市民ネットワーク」は、市内全域または各地域において環境保全のための活動をおこなっている各種団体のとりまとめ、および連絡・調整をおこなうことを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発、の4つです。

表4 安曇野環境市民ネットワークの事業内容

区 分	内 容
①コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・ ネットワーク参加団体および個人に関する情報の提供と公開・ 参加者同士のコミュニケーション・ 交流会等の企画
②環境学習の企画と実施	<ul style="list-style-type: none">・ 環境学習プログラムの企画と実施・ 環境学習におけるリーダー等、地域に貢献できる人材の育成・ ネットワークのつながりを活用した環境学習の企画と実施
③環境基本計画および行動計画の実施	<ul style="list-style-type: none">・ 環境基本計画、環境行動計画の推進への協力・ 環境保全上の課題への対応
④普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・ インターネット上での情報公開・ 活動拠点における情報提供・ 各種環境イベントの企画と運営、参加と協力

2.2.2 平成 25 年度の経過

平成 25 年度は、総会を 2 回、運営委員会を 5 回開催しました。

本年度からは、ネットワーク加盟団体の情報発信及び交流を深めることを目的とし、6 月から加盟団体が持ち回りで話題提供する談話会「環カフェ」を計 7 回おこないました。

表 5 (1) 安曇野環境市民ネットワークの経過 (1/2)

日 時	会議等名称	内 容
平成 25 年 5 月 14 日	第 1 回 運営委員会	・平成 25 年度総会について
5 月 31 日	平成 25 年度 第 1 回総会	・平成 24 年度事業報告及び収支決算 ・平成 25 年度事業計画及び収支予算
6 月 11 日	第 2 回 運営委員会	・今後の進め方について
6 月 11 日	第 1 回 「環カフェ」	・第 1 回環境教育リーダースキルアップセミナー 「イマドキの子ども達に、伝わる教育って？」 講師：㈱オン・ウィップス代表 田口 眞嗣氏
7 月 6 日	第 2 回 「環カフェ」	・NPO 法人 川の自然と文化研究所主催 川の自然と文化講演会 No. 8 「身近な水路の成り立ちとその働きを考える」への参加
8 月 9 日	第 3 回 「環カフェ」	・テーマ「地球温暖化防止について考える」 ・話題提供者 安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会 樋口 嘉一さん
9 月 13 日	第 4 回 「環カフェ」	・テーマ「地域の宝探しとネットワークづくり」 ・話題提供者 安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎 崇徳さん
12 月 13 日	第 3 回 運営委員会	・安曇野環境フェア 2013 報告 ・安曇野環境フェア 2014 について ・平成 26 年度事業計画・予算案について ・平成 26 年度役員改選について

表 5 (2) 安曇野環境市民ネットワークの経過 (2/2)

日 時	会議等名称	内 容
12月13日	第5回 「環カフェ」	・テーマ「地域づくろい」 ・話題提供者 アルプス花街道実行委員会 等々力 秀和さん
1月10日	第6回 「環カフェ」	・テーマ「松枯れへの取り組み」 ・話題提供者 あづみの再活の松プロジェクト 佐藤 明利さん
1月18日	講座	・第2回環境教育リーダースキルアップセミナー 「教える側のコツ」 講師：持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪ 代表 山田 勇氏
2月27日	第4回 運営委員会	・団体紹介、環境学習プログラム冊子の更新について ・ネットワークフォーラム2014について ・平成25年度第2回総会について
3月14日 (予定)	フォーラム 2014	・第二次環境行動計画について ・第7回「環カフェ」 テーマ「外来植物について」 話題提供者 安曇野緑の会 小河 深美さん
3月18日 (予定)	第5回 運営委員会	・平成25年度第2回総会について
3月28日 (予定)	平成25年度 第1回総会	・平成25年度事業報告及び収支決算 ・平成26年度事業計画及び収支予算 ・平成26年度役員改選

これらの会議等の他に、明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」における講師依頼への対応として、講座を計9回行いました。また、昨年度より引き続き、安曇野環境フェアの実行委員会はネットワーク加盟団体の会員を中心に組織され、環境フェアの共催・運営をおこないました。



第6回「環カフェ」



ネットワークフォーラム2014

2.2.3 加盟団体の活動状況

本年度より、環境基本計画推進会議との情報共有を目的とし、加盟団体の年度内の活動状況の報告を依頼したところ、全 24 団体・個人のうち、15 団体より報告をいただきました。55 ページ以降の参考資料 6 に団体ごとの活動状況を記載しています。

表 6 報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
自然	野生生物資料情報室
自然	安曇野緑の会
自然	NPO 法人 川の自然と文化研究所
自然	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
自然	三郷昆虫クラブ
自然	烏川溪谷緑地市民会議
農林	バジルクラブ
景観	三角島ふるさとの森プロジェクト
景観	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	安曇野ふるさとづくり応援団
景観	安曇野百選プロジェクト
自然・生活・資源	安曇野市消費者の会
地球温暖化防止	安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会
地球温暖化防止	マイ箸づくりサポートボランティア

2.3 環境基本計画庁内調整会議

庁内の担当課を明確化した上で、関連する施策の連携を強化し、環境に関する施策・事業を効果的に推進するため、庁内の連絡調整をおこなうことおよび庁内地球温暖化防止実行計画等の策定・推進・評価等をおこなうことを目的として設置しました。

表 8 環境基本計画庁内調整会議の経過

日付	会議名称	内容
平成 25 年 5 月 15 日 6 月 24 日	庁議	「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」(案)について
6 月 24 日	庁議	環境基本計画平成 24 年度年次報告書について 環境基本計画平成 25 年度実施画について 平成 24 年度地球温暖化防止実行計画の取り組みについて
平成 26 年 2 月 28 日	庁議	第二次安曇野市環境行動計画(案)について 安曇野市版レッドデータブック(案)について 安曇野市地球温暖化防止実行計画について (計画期間の延長)

2.4 環境審議会

安曇野市環境基本条例に基づき設置されるもので、環境基本計画に関することや環境保全に関する基本的事項を調査審議するための、学識経験者中心の諮問機関です。

環境問題に対し、市長の諮問に応じ答申することのほか、環境基本計画の進捗状況を管理する「環境基本計画年次報告」の承認等をおこなっています。

表 9 環境審議会の経過

日付	会議名称	内容
平成 25 年 4 月 30 日	第 1 回 環境審議会	環境基本計画平成 24 年度年次報告書について
12 月 18 日	第 2 回 環境審議会	第二次安曇野市環境行動計画（案）について 安曇野市版レッドデータブック（案）について

2.5 安曇野環境フェア 2013

2.5.1 開催のねらい

安曇野環境フェアは、「環境基本計画」に基づく取り組みの一環として、6回目となりました。

本フェアでは、「環境基本計画」で定められた取り組みを広く紹介するとともに、出展者と来場者の交流を深め、参加していなかった人も巻き込みながら参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げていくことを目指しました。

今回の開催の目的は、以下の3点でした。

- ① 参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げる。
- ② 出展者と来場者の交流を深め、これまで参加していなかった人を巻き込む。
- ③ 市民自らの手で活動し、安曇野の環境をより良くするための契機となる場を提供する。

2.5.2 開催概要

【テーマ】 安曇野の環境を知り、育み、伝える ～みんなで広げよう活動の輪～

【主催】 安曇野市、安曇野環境フェア 2013 実行委員会

【共催】 安曇野環境市民ネットワーク

【日時】 平成 25 年 10 月 12 日（土） 9:30～16:00

13 日（日） 9:00～16:00

【会場】 安曇野市堀金総合体育館（安曇野市堀金烏川 2662）

【開催内容】

- 環境活動発表会＋トークセッション（13 日）
 - ・テーマ：安曇野の環境を知り、育み、伝えるために
～子どもといっしょに何しよう？～
 - ・発表：堀金小学校、穂高西中学校、エクセラン高等学校
- パネル展示と体験コーナー（12 日～13 日）
 - ・市民団体、企業等による展示：計 64 団体・個人
- ホーボーズ・パペットシアター人形劇（12 日～13 日）
 - ・演目：3 匹のコブタ（12 日）、赤ずきんちゃん（13 日）
- こども広場（12 日～13 日）
 - ・巨大お絵かきコーナーと積み木コーナー
- リサイクル自転車の展示・頒布（12 日）
 - ・豊科リサイクルセンターで修理再生された自転車の展示・頒布（抽選）
- 使用済み小型家電の回収（12 日）

- ・政令で定める対象器具等全品目の小型家電の回収
- 「緑のカーテン」コンテスト表彰式（13日）
 - ・市内の住宅、事業所等に設置された「緑のカーテン」のコンテスト表彰式

【同時開催】

- 漫才&科学実験ショー（12日）
 - ・タメになる漫才と本格的な科学実験によるショー
(主催：安曇野市教育委員会 出演：ボルトボルズ、サイエンス演芸師善ちゃん)
- 屋敷林見学会
 - ・ガイドの説明による会場周辺の屋敷林の見学
(主催：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト)
- 表彰式
 - ・「三角島」スケッチ大会表彰式
(主催：三角島ふるさとの森プロジェクト)

【来場者数】

10月12日（土）約1,000名

13日（日）約500名

2日間の合計 約1,500名

2.5.3 準備スケジュール

準備スケジュールは以下のとおりでした。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 6月18日（火） | ・第1回実行委員会 |
| 7月9日（火） | ・第2回実行委員会 |
| 7月24日（水） | ・広報発行、出展団体申込受付開始 |
| 7月26日（水） | ・第2回実行委員会 |
| 8月24日（土） | ・信州環境フェア視察 |
| 8月26日（月） | ・出展団体申込締切 |
| 8月29日（木） | ・ポスター、チラシ原稿入稿 |
| 8月30日（金） | ・第3回実行委員会、出展者説明会 |
| 9月9日（月） | ・広報折込（9/25発行、出展団体一覧）原稿入稿 |
| 9月18日（木） | ・第4回実行委員会 |
| 9月25日（水） | ・広報発行、出展団体一覧折込 |
| 10月4日（金） | ・フェア当日配布プログラム原稿入稿 |
| 10月9日（水） | ・ラジオ（あづみ野エフエム）での宣伝 |
| 10月10日（木） | ・パネル設置位置マーキング |
| 10月11日（金） | ・会場準備 |
| 10月12日（土） | ・当日準備、開催1日目 |
| 10月13日（日） | ・開催2日目、閉会后撤収 |
| 10月29日（火） | ・振り返り・懇親会 |

2.5.4 印刷物等の資料作成

フェア告知用資料、当日配布資料として以下の印刷物を作成しました。

- ・告知用ポスター
- ・告知用チラシ
- ・小学校向け告知用チラシ
- ・広報原稿
- ・当日配布用プログラム
- ・缶バッジ
- ・アンケート（来場者、出展者、スタッフ）
- ・出展者名看板
- ・誘導看板
- ・受付等看板

2.5.5 助成などについて

（一社）長野県環境保全協会中信支部様より、運営資金の一部を助成いただきました。
また、会場で使用する電力の一部は、特定非営利活動法人信州松本アルプスの風から購入したグリーン電力を使用しました。

3 行動計画実施結果

3.1 行動計画について

「安曇野市環境行動計画」（以下「行動計画」という。）は、安曇野市のよりよい環境づくりを目的として平成 20 年 3 月に策定した「安曇野市環境基本計画」（以下「基本計画」という。）の実現に向け、基本計画に盛り込まれた取り組みのうち、特に重点的・優先的におこなう必要のある項目をまとめたものです。

基本計画は、平成 20 年度を始期として平成 29 年度を目標年度としています。行動計画は、このうちの前半にあたる平成 25 年度までに実現する項目を取り上げています。

そして、計画に従って取り組みを進めることを前提に、主体ごと、時期ごとにおこなうべき項目を可能な限り具体的に取り上げています。

3.2 重点プロジェクトの一覧

行動計画では、特に重点的・優先的におこなう必要のある項目を「重点プロジェクト」としてまとめました。重点プロジェクトは、以下の 11 項目です（実施計画の立案段階で重点プロジェクトのうち「市民参加による公園再生の仕組みづくり」と「水景観と歴史・文化遺産を活かしたまちづくり」が合体して「歩いて楽しいまちづくり」となったため、行動計画に記載された重点プロジェクトの数から 1 つ減っています）。

表 10 (1) 重点プロジェクトと平成 25 年度の実施内容一覧 (1/3)

重点 プロジェクト名	平成 25 年度の実施内容	
	主体	内 容
①CO ₂ 削減目標を設定する		<ul style="list-style-type: none"> ・ CO₂ 排出量の実態把握 ・ 削減目標を実現するための具体的な行動計画の策定と実施
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の提供と普及啓発 ・ エネルギー消費量による評価の仕組みづくり ・ 事業者のエネルギー消費量の把握 ・ 事業者の CO₂ 排出量の実態把握
	市民・事業者・行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化防止活動推進員協議会との共催による講座開催 ・ 自然エネルギー導入促進に向けての方向性の検討
②生物多様性を維持する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 安曇野市生物情報報告書と安曇野市版レッドデータブック (RDB) の作成 (原稿を完成) ・ 外来種対策の効果を測定 (対策実施前との比較)
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安曇野市版 RDB の作成
	市民・事業者・行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種 (動植物) 対策の推進 ・ 松くい虫対策及び有害鳥獣対策の効果の検証

表 10 (2) 重点プロジェクトと平成 25 年度の実施内容一覧 (2/3)

重点 プロジェクト名	平成 25 年度の実施内容	
	主体	内 容
③森づくりを推進する	・ 森林の持つ公益的機能の啓発活動を推進	
	行政	・ 里山再生計画の策定
	市民・事業者・行政	・ 森林整備等の広報と啓発活動 ・ 森林整備活動
④緑化による環境負荷の低減	・ 緑のカーテンのマニュアル作成及び HP 掲載 ・ 緑のカーテンについての公民館講座等での市民向け講習会の実施 ・ 環境負荷低減に効果のある緑化策の作成 ・ 小中学校校庭の芝生化について、実施学校の検証	
	市民・事業者・行政	・ 公共施設等における緑のカーテンの実施 ・ 緑のカーテンマニュアルの作成と配布 ・ 環境負荷低減に効果のある緑化策の作成
	行政	・ 学校校庭の芝生化の検証。
⑤歩いて楽しいまちづくり	・ 「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」の実践	
	市民・事業者・行政	・ 「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」理事者説明 ・ 「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」部長会議提出 ・ 「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」の実践
⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る	・ 市農業再生協議会を中心に、新規就農者の育成支援制度の適用を開始（平成 22 年度から継続実施） ・ 平成 22 年度から開始した育成支援の結果、新規就農者が自立する ・ 耕作放棄地対策の拡充	
	JA・営農支援センター・行政	・ 青年就農給付金事業（国庫事業）の活用並びに新規就農者生活支援金支給事業の推進 ・ 耕作放棄地対策 ・ 農地・水保全管理支払金
	市民・事業者	・ 市民・事業者による 1 品作付け事業
⑦地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる	・ 安曇野産農産物の使用率を把握し、地産地消の拡大を確認。	
	JA・市農業再生競技会・行政等	・ 地元産農産物の消費拡大 ・ 地元産農産物の使用割合の把握 ・ 地元農家による青空市等の拡充。
	JA・農家団体・行政等	・ 学校給食における地域食材の使用率向上
⑧豊かな地下水を保全する	・ 地下水保全条例を施行・運用する	
	市民・事業者・行政	・ 市民へ情報提供し地下水保全に対する意識の向上を図る ・ 地下水保全条例の運用 ・ 水資源対策協議会の運用
	行政	・ 水環境基本計画策定の検討 ・ アルプス地域地下水保全対策協議会との連携を図る
⑨ごみを減らそう	・ ごみの分別と減量化 ・ ごみの適正分別と指導・啓発と処理の最適化	
	市民・事業者・行政	・ 排出量の管理 ・ 「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」への対応 ・ 水切り道具モニター結果の検証 ・ 排出量削減施策

表 10 (3) 重点プロジェクトと平成 25 年度の実施内容一覧 (3/3)

重点 プロジェクト名	平成 25 年度の実施内容	
	主体	内 容
⑩環境について 教え学び、取 り組む仕組み づくり	・ 環境関係の情報の整備とライブラリー化	
	市民・事業 者・行政	・ 環境学習の推進 ・ 環境に関する情報の整備と発信
⑪環境マネジメ ントシステム (EMS) の導入	・ EMS 導入スケジュールの策定と予算の検討 ・ 安曇野市版 EMS の構築及び構築時期の検討	
	行政	・ EMS 導入の検討
	事業者 ・ 行政	・ 市内導入 EMS を考慮した安曇野版 EMS の推進会議での検討

3.3 各重点プロジェクトの結果

以下、重点プロジェクトごとに平成25年度の取り組みの結果を示します。

～ 重点プロジェクト表の見方 ～

(1) CO₂の排出量を削減する 担当：地球温暖化対策WG 各WG座長+希望者 (事務局：岡本)

■プロジェクトの基本事項

環境行動計画で立てた基本事項です。	目的	・省エネルギーの促進と新エネルギーの導入を促進し、CO ₂ 排出量を削減する	
	方向性	・CO ₂ 排出量の実態把握 ・削減目標を実現するための具体的な行動計画の策定と実施	
	目標	時期	内容
		平成25年度	・具体的な行動計画を検討し、取り組める行動から実施する ・市民、事業者への広報活動を実施する

■本年度の実績評価

本年度の結果の総合評価※です。	評価 (Check)	【評価】	・
-----------------	------------	------	---

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

本年度の実績を整理し、来年度に向けた改善点をまとめます。	改善 (Action)	・
------------------------------	-------------	---

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
行政	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の提供と普及啓発 ①市広報、ウェブページなどからの情報提供 ②安曇野環境フェア、安曇野環境市民ネットワークフォーラムなどのイベントや公民館講座での普及啓発 	通年	広報あづみのへの掲載 (地球温暖化の概要、省エネの取り組み、自然エネルギーの導入)	11/20	A
		通年	市ホームページでの情報提供 (市地球温暖化対策)	通年HPに掲載	
			安曇野環境フェアでの啓発 (温暖化防止推進団体の出展)	10/12(堀金)	
			<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー消費量を把握することで、地球温暖化問題に関心を持ち、CO₂排出量削減に向けて行動する仕組みづくり ①環境家計簿による各家庭のエネルギー消費量の把握 	平成25年1月より実施	環境家計簿 (各家庭でのエネルギー消費量を把握し、全体の平均、県平均と比較する)

本年度当初に立てた計画とその結果です。結果は評価※として記号で示します。

※評価
達成度別にA～Eの5段階で評価（割合の数字はおおよその目安）

A：目標達成	D：25%程度達成
B：75%程度達成	E：ほぼ未着手
C：50%程度達成	－：判定不能

(1) CO₂の排出量を削減する 担当：地球温暖化対策 WG 各 WG 座長＋希望者（事務局：岡本）

■プロジェクトの基本事項

目的	・省エネルギーの促進と新エネルギーの導入を促進し、CO ₂ 排出量を削減する	
方向性	・CO ₂ 排出量の実態把握 ・削減目標を実現するための具体的な行動計画の策定と実施	
目標	時期	内容
	平成 25 年度	・具体的な行動計画を検討し、取り組める行動から実施する ・市民、事業者への広報活動を実施する

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	・おおむね計画は達成できている。 ・環境家計簿、工業会アンケートを実施し、市民・事業者のエネルギー消費量を把握した。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	・商工会、工業会と連携し、事業者向けの広報活動の展開を具体的に図る。
----------------	------------------------------------

■平成 25 年度の実施計画および結果

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
行政	●情報の提供と普及啓発 ①市広報、ウェブページなどからの情報提供	通年	広報あづみのへの掲載 (地球温暖化の概要、省エネの取り組み、自然エネルギーの導入) 市ホームページでの情報提供(市地球温暖化対策)	11/20 掲載 HPに 掲載	A
	②安曇野環境フェア、安曇野環境市民ネットワークフォーラムなどのイベントや公民館講座での普及啓発	通年	安曇野環境フェアでの啓発(温暖化防止推進団体の出展)	10/12 ・13	
	●エネルギー消費量を把握することで、地球温暖化問題に関心を持ち、CO ₂ 排出量削減に向けて行動する仕組みづくり ①環境家計簿による各家庭のエネルギー消費量の把握	平成 25年1 月より 実施	環境家計簿 (各家庭でのエネルギー消費量を把握し、全体の平均、県平均と比較する)	100人 募集に 対し72 人応募	A
	●事業者のエネルギー消費量の把握				

計画 (Plan)					実行 (Do)		
主体	内容		時期	実施内容	結果	評価	
	①改正省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）により算出されたエネルギー使用量の把握		5月 (H23分) 8月 (H24分)	安曇野工業会会員向けにアンケート調査を実施	10月 14事業所より 回答	A	
	●事業者のCO ₂ 排出量の実態把握 ①改正省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）により算出された二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の把握		5月 (H23分) 8月 (H24分)	安曇野工業会会員向けにアンケート調査を実施	10月 12事業所より 回答	A	
	●地球温暖化対策実行計画重点施策の実施		通年	※実施内容と結果は、以下のとおり↓		B	
番号	部門	内容	目標	実績	目標	実施内容	結果
			(H32)		(H25)		
①	産業	太陽光発電の導入（事業所数）	500	広報	広報	安曇野工業会会員向けにアンケート調査を実施	数値把握
②	産業	建物の省エネルギー改善（事業所数）	600	広報	広報	安曇野工業会会員向けにアンケート調査を実施	意識啓発
③	産業	環境マネジメントシステムの導入（事業所数）	400	調査	35	安曇野工業会会員向けにアンケート調査を実施	数値把握
④	民生家庭	太陽熱温水器の導入（戸数）	7,300	9	34	設置補助金交付決定件数9件（3/14現在）	19件 （未確定）
⑤	民生家庭	太陽光発電機の導入（戸数）	15,000	1,826	2,170	設置補助金交付決定件数337件（3/14現在）	2,163件 （未確定）
⑥	民生家庭	照明のLED化（個）	340,000	広報	広報	豊科商店街街路灯のLED化整備事業	71本
⑦	運輸	エコドライブの実践（戸）	45,200	広報	広報	安曇野環境フェアでの啓発（推進事業者の出展）	意識啓発
⑧	運輸	エコカーの導入（台数）	12,500	広報	広報	安曇野環境フェアでの啓発（推進事業者の出展）	意識啓発

計画 (Plan)					実行 (Do)			
主 体		内 容			時期	実施内容	結果	評価
⑨	民生業務	緑のカーテンや屋上緑化の導入(事業所数)	1,000	広報	広報	広報誌掲載 「緑のカーテン講座」実施 「緑のカーテンコンテスト」実施	7/24 6/3 10/12・13	
行政	●地球温暖化防止活動推進員協議会との共催による講座開催				通年	「環カフェ」8月 安曇野市内企業環境 学習会	8/9 12/11	A
	●自然エネルギー導入促進に向けての方向性の検討 (小水力発電、バイオマス利用等) ①地球温暖化対策・自然エネルギー研究会(長野県) ②自然エネルギーネットまつもと等との連携				通年 通年	松くい虫被害木薪利用打合せ (薪のバイオマス活用促進利用の打ち合わせ) 市内における太陽光発電 設置に関する横断会議 市町村研究会へ参加 環境フェアへの出展	12/11 12/12 2/14 4/30 10/12・ 13	A

(2) 生物多様性を維持する 担当：自然・環境教育 WG (事務局：飯田)

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と共生する社会の構築 ・生物情報の整備と生物に配慮した施策の実施 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市の生物情報を整備し、環境計画や都市整備等の施策に反映することを目指す ・外来種対策の具体的な方向性を示す 	
目標	時期	内容
	平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市生物情報報告書と安曇野市版レッドデータブックを作成(原稿の完成)する ・外来種対策の効果を測定する(対策実施前との比較)

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね実施できたが、その効果については把握できない部分もあった。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を定量的に検証できるようにプランを立てる。
----------------	--

■平成 25 年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
行政 (生活環境課)	<ul style="list-style-type: none"> ●安曇野市版レッドデータブック(以下 RDB)の作成 	4月～9月	作成委員会	4回開催	A
	①作成委員会の開催 (回数については前年より通番。4回開催予定。時期については未定)		作成部会	7回開催	
	②RDB原稿の完成	平成26年3月	3月末完成予定		
市民・事業者・行政 (生活環境課・耕地林務課)	<ul style="list-style-type: none"> ●外来種(動植物)対策の推進 	通年	「広報あづみの」掲載	1回掲載	A
	①広報や出前講座などによる啓発		アレチウリ駆除事前研修	1日実施	
			○協働のまちづくり出前講座 ・安曇野自然環境保護講座 「特定外来生物の拡大を防ぐために」	応募なし	
②各区によるアレチウリ一斉駆除作業	6月～10月	56行政区で実施	参加人数のべ5,817人	A	

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
	③市民団体・事業者などによるアレチウリ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクなどの外来植物の駆除作業	6月～9月	2団体と1事業者が実施	参加人数のべ139人	A
	④外来種駆除の効果検証	10月～11月	区長会及び市民団体などより意見収集	実施	A
	●松くい虫対策及び有害鳥獣対策の効果の検証				
	①自然環境への影響の把握	5月～10月	森林巡視員による松枯損木調査	被害木926本発見	A
	②必要に応じた対策への提言	通年	松くい虫被害緊急対策事業、保全松林緊急保護整備事業による松枯損木伐倒処理	5,330 m ³ 処理	A
			有害鳥獣捕獲業務による個体数調整	ニホンシカ79頭捕獲	A

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(3) 森づくりを推進する 担当：自然・環境教育 WG (事務局：飯田)

■プロジェクトの基本事項

目的	・ 森林の持つ公益的機能(CO ₂ 排出抑制、水源涵養や山地災害防止など)の発揮や自然とのふれあいを重視した森林・里山の整備・保全を目指す	
方向性	・ 安曇野市の森づくりの方向性を打ち出す ・ 森づくり基本方針(森づくり構想、森づくり条例、森づくり基本計画)の策定 ・ 安曇野市森林整備計画(平成 18 年～平成 28 年)の推進	
目標	時期	内容
	平成 25 年度	・森林の持つ公益的機能の啓発活動及び里山再生計画の策定

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	・概ね実施できたが、行政の計画策定に遅延が見られる。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	・より一層の里山利用の推進を望む。
----------------	-------------------

■平成 25 年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
行政 (耕地林務課)	●里山再生計画の策定 ①策定委員会の開催 (回数については前年より通番。開催時期については未定)	通年	里山再生計画検討・素案作成	3 回実施	C
	里山再生計画ワーキンググループでの検討		8 月～12 月	A	
市民・事業者・行政 (耕地林務課)	●森林整備等の広報・啓発活動の拡充 ①NPO や市民団体等による森林についての啓発活動	通年	2 団体で実施	参加人数のべ 272 人	A
	●森林整備活動の推進 ①市民や事業者が参加できる活動機会の創出及び積極的参加	通年	NPO 活動や森林里親事業などにおいて市民等が活動できる機会があったため、市独自では計画しなかった。	実施せず	
	②森林(もり)の里親事業の展開	4 月～10 月	一般市民参加者や企業関係者による植林、除間伐、下刈等の作業	参加人数のべ 328 人	

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
市民・事業者・行政 (耕地林務課)	③みどりの少年団活動による緑化活動や環境教育の推進	通年	8月2日 松本地区みどりの少年団交流集会	7 団体 参加人数のべ 44 人	A
	④学有林活動による下刈り、除伐、間伐等の実施	6月～9月	学有林の除間伐作業	6 学校 参加人数のべ 640 人	
	⑤森林税を活用した地域協議会による森林整備の集約化及び整備活動の拡充	通年	森林経営計画策定に伴う集約化	2 団体 135haの 集約化	

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(4) 緑化による環境負荷の低減 担当：景観・まちづくりWG (事務局：深澤)

■プロジェクトの基本事項

目的	・身近な緑化を通じて、快適環境の整備だけでなく、地球温暖化防止、CO ₂ 削減などの環境負荷低減を行う	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にあった緑化策(緑のカーテン、生け垣、屋敷林など)の検討と普及 ・公共施設への省エネルギーと環境負荷低減効果のある緑化策の採用 ・学校校庭の芝生化推進(試行と検証、改善等を経て、市内の幼保小中学校校庭の芝生化を順次進める) 	
目標	時期	内容
	平成25年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減の効果のある緑化策(緑のカーテン、生け垣、屋敷林など)のマニュアル作成及びホームページ掲載 ・市民向け講習会を公民館講座等で実施する ・幼保小中学校校庭の芝生化について、実施学校の検証

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の緑化策については講座開催、コンテスト実施など一定の成果があったが、マニュアル等の緑化普及策が十分ではなかった。 ・芝生化検証については、芝生化実施施設へのアンケートが集約できた。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減に繋がり、誰もが実践しやすい緑化策の周知を更に推進していく。 ・ティフトン使用施設について本来の目的が達成できたのか課題が残った。芝生化ランニングコストについて経費とボランティアによる管理とのバランスが必要。 ・ティフトン芝ではない芝について、松本市などからの情報収集や専門家の話を聞くことを検討する。 ・緑のカーテンについて、参加に対して動機づけになるような仕組み(ホームページなどへの作品公開など)を検討し、かつ周知を図る。
----------------	--

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
市民・事業者・行政 (生活環境課)	●公共施設等における緑のカーテン実施	5月～9月	公共施設へのオーシャンブルー、ゴーヤの苗の配布(5月～6月)	36施設	A
	①設置箇所の拡大を図る	5月～	「広報あづみの」で「緑のカーテン」周知	市内周知	A
	②オーシャンブルー等緑のカーテンの普及を図る		「緑のカーテン」コンテスト実施 表彰式(10/13)	19件応募	
	③オーシャンブルー、ゴーヤ等の育成講座の開催	6月3日	緑のカーテン講座開催 「緑のカーテンの育て方」 「日本の暑さと上手につきあうために」	参加者30人	A
	④夏場対策の講座開催	12月～平成26年1月	未実施		A
⑤来年度実施に向け、各実施施設等における課題等を抽出し、まとめ、改善点等を明らかにする	A				

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
	●環境負荷低減の効果のある緑化策（緑のカーテン、生け垣、屋敷林など）のマニュアル作成及びホームページ掲載	5月～平成26年3月	広報あづみでの「緑のカーテン」コンテスト結果周知 市ホームページで「緑のカーテン」コンテスト応募画像公表	市内周知	B
行政 (児童保育課・教育委員会)	●学校校庭の芝生化の検証 ①学校校庭の芝生化は維持管理（費用面含む）および利用側の評価等を取りまとめた資料（三郷小、保育園、穂高西小等のデータから）を作成し今後の推進について検討する	4月～平成26年1月	校庭・園庭の芝生化に伴うアンケート実施	結果集約（別紙）	A
	②穂高西小学校、穂高交流学習センターみらいでのティフトン芝の検証	4月～5月	アンケート実施	結果集約（別紙）	A

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(5) 歩いて楽しいまちづくり 担当：景観・まちづくり WG (事務局：深澤)

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民が水景観や歴史文化遺産等の魅力を再発見し、その魅力をさらに高めることにより地域の活性化を図る(観光が主目的としてのスタートではなく、地域の活性化を図り、最終的に観光資源へ発展するように) 活用されていない公園を、地域住民がふれあい、地域の活力を高める場として再生する 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> 自動車を使わず歩いて回れるまちづくりの推進 水景観や歴史・文化遺産などの保全と活用 上記の地域資源を結びつける遊歩道、自転車道のネットワーク化 地域住民が参加する公園再生の仕組みづくり(公園の再生計画、施工、管理など可能な範囲で地域住民が参加し、地域住民のニーズが反映された公園再生を行政とともに協働で進める) 	
目標	時期	内容
	平成 25 年度末	・「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」の実践

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」の実践が実施できた。 ・モデル地区が選定された。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区が自ら構想し、自主的に進める「まちづくり」の内容に応じた市民団体、行政のサポートを実施していくことが必要。 ・モデル地区以外の地区に広げていくため、プロジェクトのPRが必要。 ・新規参加者集めの工夫(メディアを使う等)が必要。
----------------	---

■平成 25 年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
市民・事業者・行政 (生活環境課・まちづくり推進課)	●「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」理事者説明	4月26日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」(案)理事者説明	了承	A
	●「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」部長会議提出	5月15日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」(案)部長会議説明(5/15・6/24)	了承	A
	●歩いて楽しいまちづくりプロジェクトの実践 1. 重柳地区				A
	①地区住民を取り入れる事業の検討 ※地域が課題解決として認識し取り組む事業とする	5月～6月	「歩いて楽しいまちづくりPJ」事業打ち合わせ会議(ペンション協議会、環境市民NW、庁内関連部署)(7/23・8/21・8/26・9/20・10/16・10/24)	計画検討	A
②事業実施にあたっての関係団体、関係部署との調整	5月～6月	区長会説明(7月)	計画説明	A	

	③事業の実施	5月～ 6月	「歩いて楽しいまちづくりPJ」豊科地域重柳区開催(9/29) 「歩いて楽しいまちづくりPJ」明科地域潮沢区開催(11/2)	実施	A	
	④事業実施を通して、課題の抽出、今後の展開についての検討をする。	12月～ 平成26年2月	潮沢区長との打ち合わせ(1/29)	要望の抽出	A	
	2. 実践対象モデル地区の確定 ※実践対象地域が課題解決として認識し、取り組む事業とする	5月～ 12月				A
	①モデル地区の「いいところ」(水辺・山並み・田園・歴史・文化・里山・森・温泉)の把握	平成26年1月～ 3月	潮沢区長との打ち合わせ(1/29)	モデル地区の承認	A	
	②モデル地区の情報マップ作成	平成26年1月～ 3月	潮沢区長との打ち合わせ(1/29) マップ(案)作成	要望の抽出 作成	A A	

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(6) 耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る 担当：農業WG (事務局：深澤)

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地を減らし、農地を保全する 新規就農者を増やし、農業従事者や地域が意欲的に農業を続けていくことのできるような環境整備を進める 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃農地解消に向けた相談から情報提供まで一貫した対応ができる体制を構築する 相談・問合せ等の窓口を一元化した「就農支援室」を設置し、具体的な所得向上策の提案など農家の後継者を確保する体制を確立する 農業学習の仕組みと指導体制を整備し、市民が農にふれあうきっかけを増やす 	
目標	時期	内容
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者数 274 経営体 新規就農者数 7 人/年 耕作放棄地面積 53.8ha

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> 目的、方向性に沿ってみればほぼそれぞれ達成している。 ただし、耕作放棄地が全面的に解消するには難しいのが現状であるが、辛抱強く継続するよう努めていただきたい。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> 今年度を踏襲して次年度も引き続き、目標達成に鋭意努力していただきたい。
----------------	---

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
JA・市農業再生協議会・行政 (農政課・農業委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ●人・農地プラン作成* ①市内のJA支所単位で、人と農地の問題の解決に向けた新たな地域農業の仕組みを作成する 	4月～ (14地区で 作成)	暫定プランの見直し ・豊科、南穂高、高家、上川手(11/20) ・三田・烏川(12/20) ・穂高、三郷、明科(3月上旬開催)	プラン 毎の検討を実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ●青年就農給付金事業(国庫事業)の活用、新規就農者生活支援金支給事業(市農業再生協議会事業)並びに親元就農促進事業(市)の推進 ①対象者の公募、申込受付～決定～補助金交付 ②対象者への農地情報提供、営農指導等 ③対象者からの実績報告 	4月～ 通年 平成26年 3月	青年就農給付金事業 ・国から5年間、150万円/年の給付 新規就農者生活支援金支給事業 ・市農業再生協議会から上限5万円/月給付 親元就農促進事業(親元就農支援金) ・市から20万円/年を給付する。 親元就農促進事業(機械等整備補助金) 上記就農者が整備する農業用機械等の取得費用補	給付者： 12名 給付者： 3名 給付者： 26名 申請者： 8名	A

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
			助(補助率 3/10 以内)		
	●耕作放棄地対策 ①現地調査(実施～集計～まとめ～有効活用) ②耕作放棄地対策相談窓口の充実 ③耕作放棄地解消補助事業等促進 (草刈り機・トラクター貸出事業)	通年 通年 通年	荒廃農地調査によるデータ作成(6月～7月・12月) 歩行型草刈機の無償貸与	662筆の調査による約6.2haの解消。 3台の活用 (穂高・三郷・明科)	A
市民・市 農業再生 協議会・ 行政	●農地・水保全管理支払交付金事業 ①対象集落数の拡大 ②共同による農地・農業用水・農村環境の保全活動 ③農業用施設の長寿命化の取り組み	4月～	活動組織(集落)数の拡大 (通年実施)	32組織 (H24) → 40組織 (H25)	A
			共同活動の実施 (通年実施)	地域環境の改善	
			向上活動の実施 (通年実施)	農業用施設の長寿命化	
	●中山間地域等直接支払事業 ①中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、集落で農地の管理方法や役割分担を決めた「協定」を締結し、地域ぐるみで農地を守る	4月～	協定締結集落に対し、国、県、市から農業生産活動を支援する交付金を交付する。	15集落 約10haの農地に1,600万円の交付	A
●農業体験講座の開催により、新規就農を目指す方の支援を行うとともに市民も参加する。 ①市内6団体の農業塾及び体験農場の開講支援 ②市民も事業に協力するとともに積極的に参加する	通年	新規就農者の育成を目的に会委員を募り、野菜栽培等の実地研修を行う農業塾や体験農場に対し、市からの補助金により活動支援。	市内5組織 174名の会委員活動 補助金総額 1,256千円	A	

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(7) 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる 担当：農業 WG (事務局：深澤)

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を進め、安全・安心な地元農産物の消費を拡大する ・地元農産物の質と安全性を高くする取組みを推進するとともに、学校給食や農産物直売所等において、地産地消の取組みを増やす 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・より適正な価格で販売することを視野に入れ、地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる ・「農業体験講座」等の拡充 ・学校給食での地元農産物の使用を拡大するとともに、学校給食を通じて子どもと地元農家の接点を増やす ・環境にやさしい配慮した農業を推進するため「環境に配慮した安全・安心な農業講座」を開設し、エコファーマーの拡充を図る 	
目標	時期	内容
	平成 25 年度末	・安曇野産農産物の使用率を把握し、地産地消の拡大を確認する

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・目的、方向性、目標に沿ってみればほぼそれぞれ達成している。 「エコファーマー」に関する活動報告や事業内容について更に広報等周知して、多くの市民に知っていただきたい。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	・冬場の農産物拡大についての施策、空きハウスの利用について推進が望まれる。
----------------	---------------------------------------

■平成 25 年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
JA・市農業再生協議会・行政（農政課、農業委員会）	<ul style="list-style-type: none"> ●地元農産物消費拡大 ①「農業体験講座」等を増やし、播種から収穫までの一連の作業や作物の加工体験を行い、農業に対する理解と交流の促進に取り組む 	通年	農業体験講座の実施 播種～収穫 加工体験など	ニーズに対応した体験メニューの実施	A

計画 (Plan)				実行 (Do)						
主体	内容		時期	実施内容			結果	評価		
実施主体	事業名	場 所	実施期間	実施主体	事業名	場 所	実施期間	回数	参加人数/回	延べ参加人数
コープながの、JAあづみ	国際協力田植体験	堀金 烏川	5月	コープながの、JAあづみ	国際協力田植体験	堀金烏川	5月	1	126	126
コープながの、JAあづみ	ふれあい農園	堀金 烏川	4月～11月	コープながの、JAあづみ	ふれあい農園	豊科南穂高	5月～10月	3	15	46
あづみ野農業塾	安曇野農業塾	豊科 高家	4月～3月	あづみ野農業塾	安曇野農業塾	豊科高家他	4月～3月	12	68	570+実習
堀金公民館	農業体験講座 スイカ塾	堀金	4月～8月	堀金公民館	農業体験講座	堀金	5月～12月	7	6	42
三郷やすらぎ運営委員会	やすらぎ農場 ふれあいセミナー	三郷温	5月～3月	三郷やすらぎ運営委員会	やすらぎ農場ふれあいセミナー	三郷温	5月～3月	10	30	255
穂高土曜農業塾	穂高農業体験塾	穂高 有明	3月～12月	穂高土曜農業塾	穂高農業体験塾	穂高有明	3月～12月	10	33	282+実習
烏川体験農場	烏川農業体験	堀金 烏川	2月～1月	烏川体験農場	烏川農業体験	堀金烏川	2月～1月	14	33	360+実習
三田体験農場	三田農業体験	堀金 三田	4月～3月	三田体験農場	三田農業体験	堀金三田	4月～3月	8	21	130+実習
あかしな農業塾	明科農業学習塾	明科 東川手 他	3月～12月	あかしな農業塾	明科農業学習塾	明科東川手他	3月～12月	12	22	220+実習
合 計	9箇所	—	—	合 計	9箇所	—	—	77	—	—

A

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
JA・行政 (農政課、農業委員会)等	●エコファーマー*、県認証農家の育成を図る ①農業再生協議会主催による「環境に配慮した安全・安心な農業講座」の開催	通年	「環境にやさしい農産物栽培研修講座」を開設。 (6/4・7/30・11/7・2/5) 東京都武蔵野市のアンテナショップを視察 (9/13)	受講者 5名	A
	●地元産農産物の使用割合把握 ①農産物直売所を中心に、地元農産物仕入高(売上高)調査を実施	通年	農産物直売所での地元農産物の出荷量の把握 (通年)	空きハウス利用の推進と実施 農産加工品の供給	A
JA・農家団体・行政 (学校給食課、農業委員会)等	●学校給食における地域食材の使用率向上	通年	市内4か所の学校給食センターへの安曇野市内農産物の納入状況の調査と使用の推進(通年)	安曇野産米の使用 野菜の供給	A
			「安曇野の日」の実施による地域食材を使用した献立給食の提供(1回/月)	児童・生徒へ地域食材の紹介	A
市民	●地元農家による青空市等の拡大	通年	直売所におけるイベント及びその他の場所での地域農産物の販売	安曇野農産物のPRの実施	A

※A:目標達成、B:75%程度達成、C:50%程度達成、D:25%程度達成、E:ほぼ未着手、-:判定不能

(8) 豊かな地下水を保全する 担当：資源・エネルギーWG（事務局：岡本）

■プロジェクトの基本事項

目的	・安曇野の地下水の保全・涵養及び適正利用を図り次世代に引き継ぐ	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境基本計画の策定 ・水資源対策協議会の運用 ・市民への情報提供と地下水保全に対する意識の向上 ・アルプス地域地下水保全対策協議会との連携 	
目標	時期	内容
	平成25年度末	・地下水保全条例を施行・運用する

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	・地下水保全条例制定後の運営・管理体制を構築した。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	・水環境基本計画策定委員会の運営を早期に進める。
----------------	--------------------------

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
市民・事業者 ・行政 (生活環境課)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民へ情報提供し地下水保全に対する意識の向上を図る ①広報、ホームページへの掲載 ②出前講座の実施 (安曇野市協働のまちづくり出前講座にメニュー掲載) 	4月～ 通年	井戸の設置状況届出について 地下水保全講座 「安曇野の水資源を次世代へ」	4/1 7/3 40人 2/7 30人	A
	<ul style="list-style-type: none"> ●地下水保全条例の運用 ①既往取水者、井戸所有者の届出 ②新規取水者の取水量管理 (地下水採取審査委員会の開催) 	4月 1日～ 9月 30日 通年	市内に井戸を所有している、借り受けている人に届出をしてもらう。 新規に井戸を設置する場合に、適否を審査する。	573件 受理 (9割) 非公開	A
	<ul style="list-style-type: none"> ●水資源対策協議会の運用 ①協議会の役割、方針の決定 ②地下水位のモニタリング及び結果の公表 ③麦後湛水検証事業の実施 	6月 通年 7月～ 9月	事業計画策定 明科地下水位観測所 堀金地下水位観測所 麦刈取り後圃場への湛水及び調査結果まとめ	7/11 12ヶ月 7月～8月 約11ha	A
行政 (生活環境課)	<ul style="list-style-type: none"> ●水環境基本計画策定の検討 ①計画策定委員の選定 ②計画の方針、策定までのスケジュール決定 	6月 6月	庁内調整、平成29年度の施行を目指す	9月	B

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ●アルプス地域地下水保全対策協議会との連携を図る ①平成 25 年度アルプス地域地下水保全対策協議会 	年度内 4 回 (5 月 8 月 10 月 2 月)	担当者会議の開催	5/27 7/31 2/12 ※WG 4 回 開 催	A

※A: 目標達成、B: 75%程度達成、C: 50%程度達成、D: 25%程度達成、E: ほぼ未着手、-: 判定不能

(9) ごみを減らそう 担当：資源・エネルギーWG（事務局：岡本）

■プロジェクトの基本事項

目的	・市民・事業者・行政との協働によるごみの減量、資源化及び適正処理を推進し、循環型社会の実現を目指す	
方向性	・ごみの適正分別と指導・啓発 ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)の促進	
目標	時期	内容
	平成25年度末	・ごみの分別と減量化 ・ごみの適正分別と指導・啓発と処理の最適化

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	・おおむね計画どおりに実施できた。
	A	・家庭系可燃ごみ排出量 10,477t/H25.4~12(前年比 -0.2%) ・事業系可燃ごみ排出量 7,373t/H25.4~12(前年比 -0.3%)

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	・ごみの排出量の減量に向け、取り組みを継続する。
----------------	--------------------------

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
*** 新たな取り組み ***					
市民・事業者 ・行政 (廃棄物対策課)	●排出量の管理	通年	家庭系及び事業系ごみの排出量管理	減少見込み	A
	●「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律* (施行 平成25年4月1日)」の対応 ①回収ボックスの設置(支所5箇所) 試験回収により排出量等を把握し、今後の対応策の検討資料とする	6月～	回収ボックスの設置(支所5箇所) 安曇野環境フェアで回収を実施	回収量約3,000kg(3月末見込) 10/12・13回収量3,075kg	A
	●水切り道具モニター結果の検証 ①モニター結果を参考に普及啓発方法を検討	平成26年1月～	年4回計量結果をモニタリング	生ゴミからっと10名、しぼりっ子7名より報告	A
	●生ごみの減量・資源化アドバイザーの人材育成について検討する。	10月	各地区の環境部長会議において教育を実施	4月11月	A
	●収集運搬業者に向けた研修会	8月	事業系ごみの減量、適正処理について	11/27	A

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
	*** 従来からの取り組み ***				
	【循環型社会の形成】 ●ごみの適正分別指導・啓発				A
	①広報及び市ホームページ掲載	4月～	家庭ごみ、資源物の分別等	広報4回、HP通年	
	②小中学校との連携の環境教育	随時	ポスター募集 一斉清掃参加依頼	1校 延べ1,820人	
	③区や環境部からの要請により現場にて対応	随時	ごみ・資源物集積所等において巡回指導	随時実施	
	④区や環境部等からの出前講座	随時	出前講座等実施	出前講座2回 (1/27、2/15)、 環境部長会議5回	
市民 ・事業者 ・行政 (廃棄物 対策課)	⑤市主催のイベントを活用して情報提供	随時	安曇野環境フェア出展	10/12・13	
	⑥不適切な排出に「注意シール」添付	随時	ごみ・資源物集積所等においてシール添付		
	●不法投棄防止パトロール	随時	監視員によるパトロール	1,940時間	A
	●春と秋の市内一斉清掃日への対応	5月 11月	各区環境部、小中学校、高校等に協力を依頼し実施	5/26 11/3	A
	●事業系ごみの展開検査と分別収集指導	6月	大型ごみを確認し指導	6/19 11/19	A
	●事業者への減量化と適正処理の協力要請	10月	事業系ごみの減量、適正処理について	11/27	A
	●市有施設のごみ排出、資源化を検証し改善指導	7月	資源ごみの分別排出の徹底	毎月 第4水曜	A
	●高齢者の排出支援調査研究(社会福祉協議会、JA あづみ等と連携)	8月～ 11月	現行のサービス展開において一定の効果が認められる		A
	●粗大ごみ及び処理困難物の収集・運搬・処理体系構築	5月～ 平成26年 2月	「使用済み小型家電」の回収を開始	7月～ 約6,000 kg見込	A
	【リデュース】 ●ごみの減量化に向けた処理機器(生ごみ処理機、コンポスター)購入費補助	4月～	①生ごみ処理機補助 ②せん定木等粉碎機	①74件 ②13件	A
	●「段ボールコンポスト講習会」を開催し普及を図る。	6月～ 10月	豊科リサイクルセンターで開催	11/16 3/21(予定)	A
	【リユース】 ●廃却・放置自転車の修理再生販売	2月	安曇野環境フェアにおいて展示販売 豊科リサイクルセンターで頒布会を開催	10/12 31台販売 3/21(予定) 30台予定	A
	【リサイクル】 ●「緑のリサイクル(家庭からの剪定枝のチップ化)」事業について実施する。	4月～ 11月	宅内排出庭木剪定枝のチップ化及び資源化	処理量 85,365kg	A

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主 体	内 容	時期	実施内容	結果	評価
	●家庭から出る廃食用油を回収し BDF 製造装置で処理し燃料化する。	4月～ 11月	廃食用油回収	回収量 3,150kg	C
			バイオディーゼル燃料製造	製造量65ℓ にとどまる 販売先確保が課題	
	●家庭から出る廃食用油を回収し手作り石鹼にして希望者に有償配布する。	4月～ 12月	石鹼加工プラント運営業務	販売金額 155千円	A

※A: 目標達成、B: 75%程度達成、C: 50%程度達成、D: 25%程度達成、E: ほぼ未着手、-: 判定不能

(10) 環境について教え学び、取り組む仕組みづくり 担当：自然・環境教育 WG（事務局：飯田）

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会や講座などを通しての環境保全への理解と参加を呼びかける ・市民、事業者、行政の環境保全活動の教育・情報体制を構築する 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育に取り組む人材の育成 ・環境に関する情報の蓄積と提供 ・環境に関する学習機会の提供 	
目標	時期	内容
	平成 25 年度末	・環境に関する情報の整備とライブラリー化

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会や講座などを通しての環境保全への理解と参加を呼びかけ、境保全活動の教育・情報体制を構築することができた。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習の体制の構築だけではなく、その利用方法についても検討が必要。
----------------	---

■平成 25 年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
市民・事業者・行政 (生活環境課・まちづくり推進課・教育委員会等)	●環境学習の推進と人材育成				
	①安曇野環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供、更新	通年	小中学校に提供情報の更新		A
	②各種研修会などへの参加呼びかけと開催	通年	スキルアップセミナーの開催	2回開催	A
			環境カフェの開催	6回開催	
	③小中学校での実施	通年	明科中学校で実施	10回開催	A
			市内 15 小中学校で実施	延べ 250 日	
	④公民館講座等での実施	通年	三郷公民館で実施	のべ 5 日実施	A
	⑤安曇野環境フェアへの参加	10 月	堀金総合体育館で実施	1,500 人参加	A
	⑥協働のまちづくり出前講座の利用	通年	各講座を実施	計 4 回利用	A
●環境関連情報の整備と発信					
①「広報あづみの」による広報	通年	「緑のカーテン」など	6 回掲載	A	
②あづみ野エコプラン.net の整備と活用	通年	7 月 1 日 ホームページのリニューアル	実施	B	
③市立図書館での環境関連図書の充実	通年	環境関連図書の購入	40 冊購入	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

(11) 環境マネジメントシステム（EMS）の導入を促進する 担当：資源・エネルギーWG

（事務局：岡本）

■プロジェクトの基本事項

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市の業務の環境負荷低減および定めた目標を確実に実行する ・事業者へのEMSの導入により環境負荷を低減させる 	
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の業務へのEMS導入 ・事業者へのEMS導入支援 	
目標	時期	内容
	平成25年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内EMS導入スケジュール策定とそれに伴う予算化 ・安曇野版EMSの構築及び構築時期の検討(構築の妥当性の検証を含む)

■本年度の実績評価

評価 (Check)	【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・導入スケジュールまでの検討がなされた。
	A	

※A：目標達成、B：75%程度達成、C：50%程度達成、D：25%程度達成、E：ほぼ未着手、－：判定不能

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への環境教育の体系化を図る。 ・システムの詳細について検討する。
----------------	--

■平成25年度の実施計画および結果

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
行政	●庁内EMSの検討				A
	①所管課の決定	6月までに	担当部署は総務部総務課	6月	
	②導入スケジュールの検討	10月までに	平成28年度の実施を目指すための日程を決定	6月～10月	
	③平成26年度予算の計上	11月～	予算計上無 (庁内会議による検討が主であるため)	※検討の結果、 現行の体制で対応することとなった。	
	④職員の環境教育の状況把握	10月～	各庁舎内における 省エネ行動の推進	環境教育の現状把握、 環境教育が体系化されていないことが分かった。	

計画 (Plan)			実行 (Do)		
主体	内容	時期	実施内容	結果	評価
事業者・行政	<p>● 市内導入EMSを考慮した安曇野版EMSの推進会議での検討(構築の必要性、構築時期を含めた検討)</p> <p>① 自治体独自のEMSの内容把握と効果と課題の把握</p> <p>1) 「塩尻環境スタンダード」(塩尻市)</p> <p>2) 「南信州いいむす21」(南信州広域連合)</p> <p>1)、2)の中小企業向け独自EMSの内容把握と運用状況の把握(利点と課題)</p>	4月～	<p>塩尻市市民環境事業部生活環境課 訪問聞き取り</p> <p>飯田市水道環境部地球温暖化対策課ISO推進係訪問聞き取り</p>	<p>12/13</p> <p>12/20</p>	B
	② 市内企業のEMS加入状況の把握 (ISO14001、エコアクション21、KES等把握可能なEMS)	4月～	安曇野工業会会員向けにアンケート調査実施	10月25事業所より回答	

※A: 目標達成、B: 75%程度達成、C: 50%程度達成、D: 25%程度達成、E: ほぼ未着手、-: 判定不能

4 次年度へ向けて

4.1 市全体のテーマの進行

(1) 年次テーマ

本年度の年次テーマは、「安曇野の環境を知り、育み、伝える ～みんなで広げよう活動の輪～」でした。市民自らの手で安曇野の環境をより良くしていくことを目指してこのテーマが選定されたものの、本年度の取り組みでは、主体が市民、事業者、行政で一体として扱われているものも多く、主体が不明確な点も見受けられました。

そこで次年度は、本年度と同じテーマのもと、新たに策定された「第二次安曇野市環境行動計画」に基づいて計画を作成し、主体となる市民、事業者、行政が何をすればよいか、より具体的に分かりやすく示します。これにより、誰もが具体的に取り組むことができ、参加できる仕組みづくりを目指します。

年次テーマの展開方法として、特に市民が主体となる重点プロジェクトを着実に推進するとともに、環境フェアなどのイベントや広報などを通じた普及啓発活動を積極的におこないます。

- 市民が主体となる重点プロジェクト
 - ①緑化と省エネを主体とした CO₂ 削減に取り組む
 - ②安曇野にふさわしい生態系を守る
 - ③身近な水辺を育み地域の歴史と文化を大切にする
- イベントなどでのテーマ設定
安曇野環境フェア 2014（仮称）でのテーマ設定
安曇野環境市民ネットワーク・フォーラム など
- 広報などでの普及啓発活動
広報誌などによる取り組みの宣伝
安曇野市環境基本計画関連情報サイト「安曇野エコプラン.net」の活用 など

(2) 長期テーマ

環境基本計画の計画期間である平成 20 年度～平成 29 年度を通じて、「地球温暖化防止にみんなで取り組む」という長期テーマが設定されています。そこで、次年度も本年度に引き続き、同じテーマで取り組みの展開をはかります。

4.2 第二次環境行動計画に基づく実施計画の作成

平成 20 年度に策定された環境基本計画に基づき、平成 21 年度に策定された第一次環境行動計画は、本年度までに実現する項目を取り上げました。

次年度は、第一次環境行動計画を検証し改定された第二次環境行動計画に基づき、実施計画を作成します。

4.3 重点プロジェクトの推進

計画の立案に際しては、第一次環境行動計画で取り込まれてきた重点プロジェクトを検証し、取り組み方針について「環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）」と、「計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）」の二つに区分します。

「環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）」では、主体となる市民、事業者、行政が具体的に何をすればよいのか分かる形で環境に関する行動のプログラム化を行い、全市的に展開していくことを目指します。また、「計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）」では、他計画の方針に沿った取り組みについて推進会議で進行管理を行い、推進と実践を進めます。

次年度の重点プロジェクトの区分

環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）

●ねらい

- ・取り組みが必要な活動について、市民、事業者、行政が何をすればよいのか分かるようプログラム化し、具体的に進めていきます。
- ・達成度が分かるよう数値目標を設定し、進行を管理します。

●網羅する範囲

- ・第一次行動計画では取り組みが十分ではなかった活動
- ・他計画では網羅しきれっていない活動

計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）

●ねらい

- ・庁内調整会議など関係部署と連携しながら、進行を管理します。
- ・年度内に2回程度の頻度で、関係部署の担当者から進捗状況について報告を受け、工程が遅れたり見直しが必要と判断される項目については、取り組みの改善を要望します。

●網羅する範囲

- ・他計画等で推進されている活動

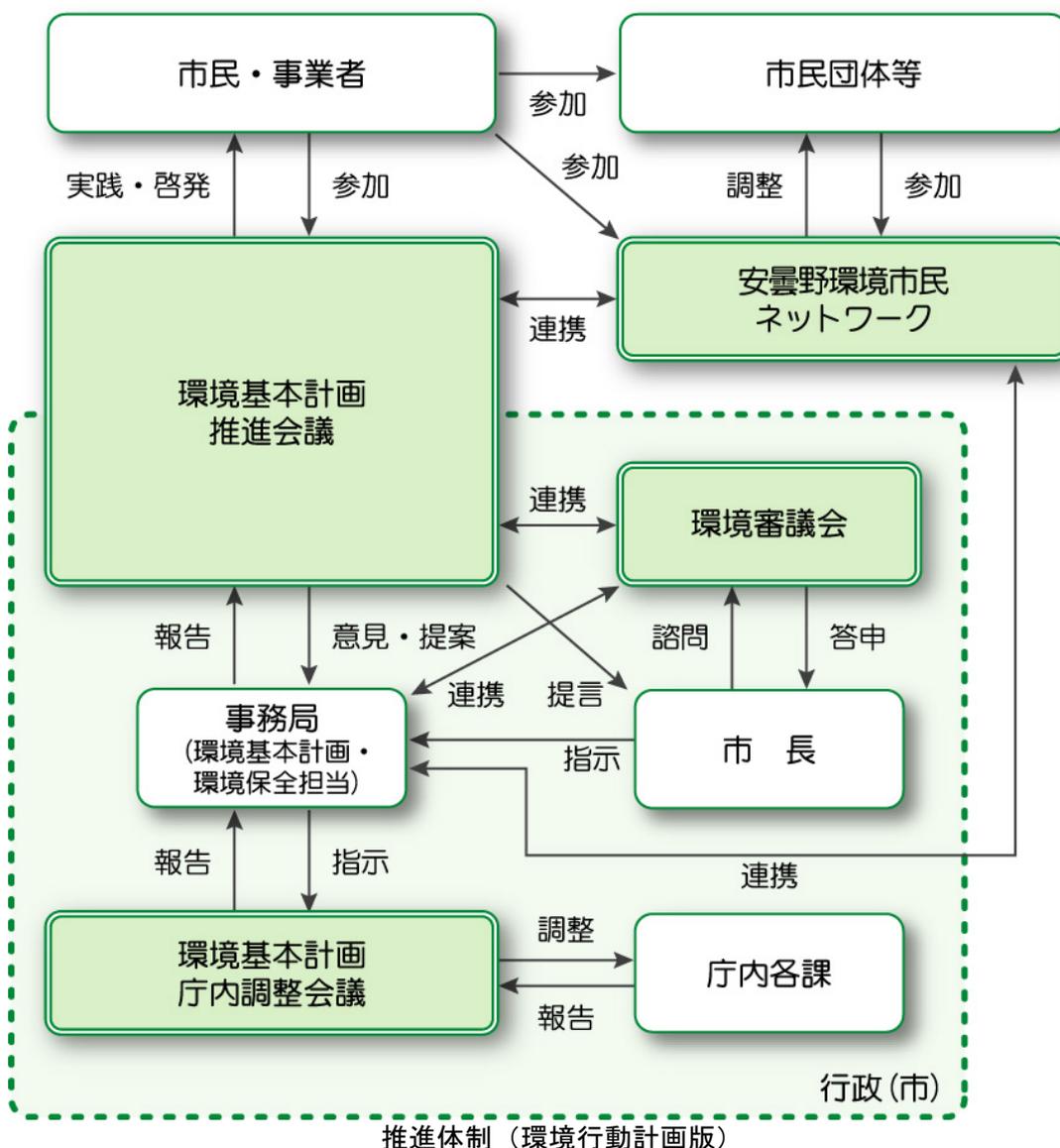
参考資料 1：環境基本計画の推進体制と進行管理

【推進体制】

環境基本計画は、市民・事業者・行政、その他関係する組織・団体など、さまざまな主体の各自の取り組みと、相互の連携や協働によって推進する必要があります。

環境基本計画を受けて策定した環境行動計画において定めた推進体制を、下の図に示しました。中核となるのは、市民・事業者・行政を含めた組織である「環境基本計画推進会議」であり、市全体としての計画の進捗状況の把握、課題点および対応策の検討などを行う機能です。このほか、行政内部の調整組織である「環境基本計画庁内調整会議」、専門的な見地から計画の達成・進捗状況を点検・評価する「環境審議会」のそれぞれが連携して計画の推進をはかります。

また、平成 21 年 9 月に発足した「安曇野環境市民ネットワーク」も、さまざまな市民団体などをとりまとめ、団体間の調整・連携をはかるとともに、事業者・行政との協働の窓口として機能します。



【進行管理】

環境基本計画の進行管理フローは、マネジメントの基本的なサイクルである PDCA サイクル（計画（Plan） → 実行（Do） → 点検・評価（Check） → 改善（Action））にしたがって進行します。

このサイクルは、毎年においては年度別実施計画に基づいた年間の取り組みと進捗状況をまとめた年次報告が基本となります。

① 計画する（Plan）

事務局は、環境基本計画・環境行動計画を基盤として年次の実施計画を策定します。2年目以降は、「環境基本計画推進会議」の結果である「年次報告」に基づき、「環境審議会」および市民・事業者などの意見から庁内担当各課の年次目標を設定し、年次実施計画を策定します。

② 実行する（Do）

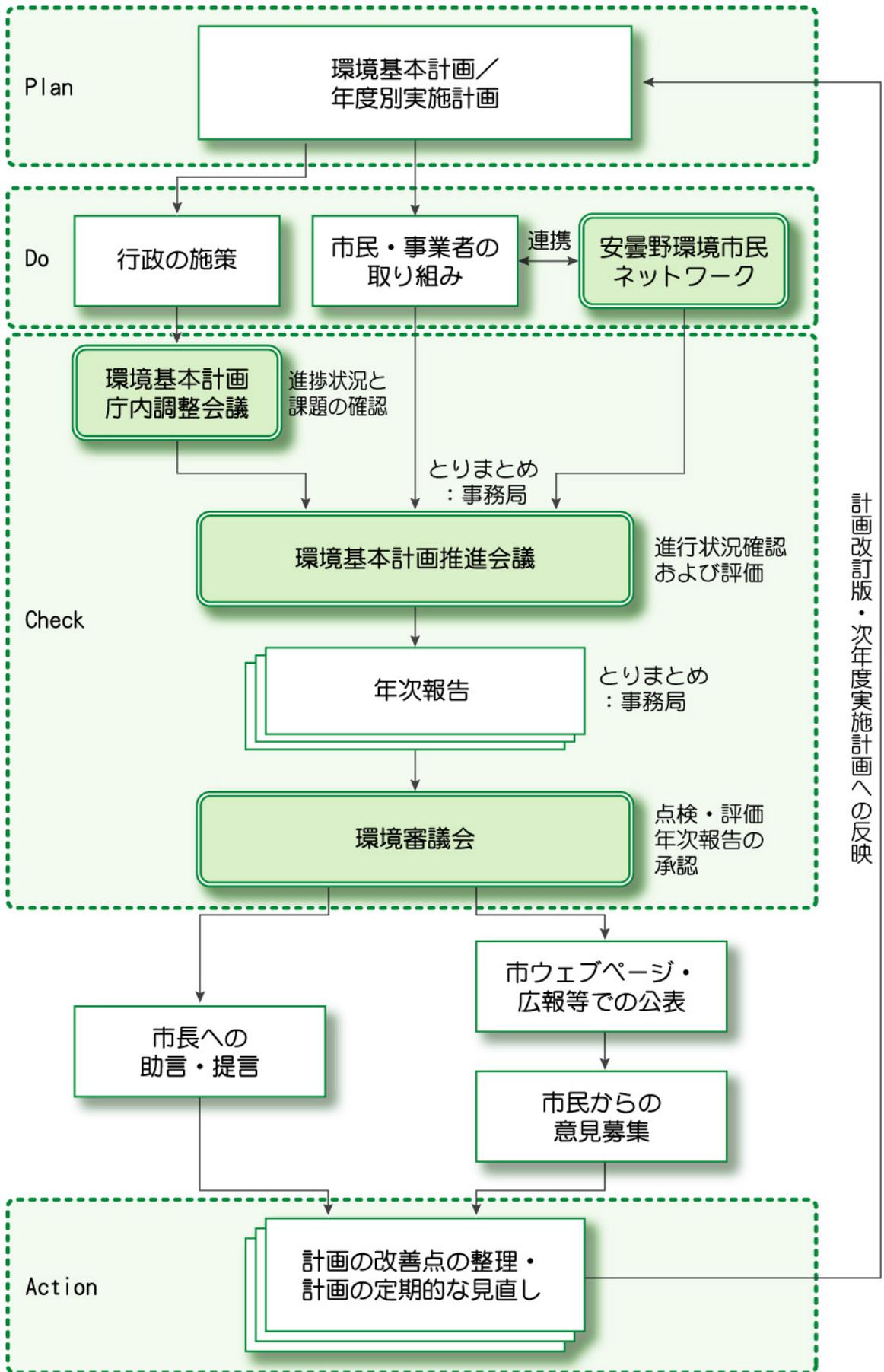
各主体は実施計画に基づき、前項の推進体制に沿って取り組みを進めます。進捗状況については、「環境基本計画推進会議」や「環境基本計画庁内調整会議」において把握し、調整を行います。

③ 点検する・評価する（Check）

事務局は、実施計画に基づき行った取り組みの結果について集約を行い、各会議に報告します。「環境基本計画推進会議」では、市全体の取り組みの結果を集約し、「年次報告」を作成します。「年次報告」は「環境審議会」での点検・評価を行うとともに、広く市民・事業者公表して意見を募ります。

④ 見直す・改善する（Action）

事務局は、「環境審議会」での点検・評価結果、および「年次報告」に対して寄せられた意見について対応を検討し、次年度の年次実施計画への反映と、必要に応じて計画の見直しを行います。



進行管理（環境行動計画版）

参考資料 2 : 安曇野市環境基本計画推進会議委員 名簿

役職	氏名	所属など	区分	備考
会長	千國 温	旧環境基本計画策定委員	市長推薦	
副会長	植松 晃岳			
委員	川井 敏克	安曇野市商工会	事業団体代表	
	本木 修一	安曇野工業会		～平成 25 年 5 月 離職により任期終了 任期後はオブザーバー として参加
	胡桃沢 宏行			平成 25 年 6 月～ 就任による
	中嶋 勝美	安曇野市農業委員会		～平成 24 年 8 月 農業委員改選による
	丸山 多江			平成 24 年 8 月～ 農業委員改選による
	青柳 聡	J A あづみ		
	望月 静美	安曇野市消費者の会	環境関連団体 代表	
	岡江 正	長野県建築士会 安曇野支部		
	太田 忠雄	安曇野市地球温暖化 防止活動推進協議会		
	田村 恵子	安曇野環境市民ネットワーク		
	寺島 次男		公募委員	～平成 25 年 1 月 辞任
	百瀬 智之			～平成 25 年 1 月 辞任
	樋口 嘉一	旧環境基本計画策定委員	市長推薦	
宮崎 崇徳				
近藤 眞奈美				

(任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)



推進会議の様子（平成 25 年 6 月 25 日）



推進会議の様子（平成 25 年 11 月 26 日）

参考資料3：写真アルバム 【環境フェア】



開会式



漫才 & 科学実験ショー



人形劇 (3匹のコブタ)



リサイクル自転車の展示・頒布



メインアリーナ



屋内ブース



子ども広場



屋外ブース



環境活動発表会



トークセッション



「三角島」スケッチコンテスト表彰式



集合写真

参考資料4：イベント参加団体一覧

【安曇野環境フェア 2013】

■出展団体（分類ごとの五十音順）

分類	団体名	分類	団体名
環境全般	安曇野環境市民ネットワーク	生活	コープながの
	安曇野市環境基本計画推進会議		生活クラブ生活協同組合
	安曇野工業会		㈱ちくま精機
	安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会		特定非営利活動法人CO2バンク推進機構
	キッセイ薬品工業㈱		長野県電波適正利用推進員協議会
	㈱サクセン		マックスバリュ長野㈱
	信州環境フェア実行委員会		松本市消費者の会波田地区
	信州大学松本キャンパス環境ISO学生委員会		㈱ランド・エコ
	3Rおじさん		
セイコーエプソン労働組合			
自然	安曇野市版レッドデータブック作成委員会	景観	安曇野まちなかにぎわいプロジェクト
	安曇野緑の会		あづみの再活の松プロジェクト
	NPO法人 川の自然と文化研究所		安曇野百選プロジェクト
	環境省 松本自然環境事務所		安曇野ふるさとづくり応援団
	関東農政局中信平二期農業水利事業所	環境学習	三角島ふるさとの森プロジェクト
	自衛隊長野地方協力本部広報センター		屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
	NPO法人 信州ツキノワグマ研究会		安曇野市豊科ささえあいセンター「にじ」
	信州水環境マップ・ネットワーク		エクセラン高等学校
	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」		トゥモロウ・リーディング・倶楽部 (T・L・C)
	長野県鳥川渓谷緑地 市民会議		マイ箸づくりサポートボランティア
長野県松本地方事務所 林務課	エネルギー	安曇野市耕地林務課	
三郷昆虫クラブ		かえる311	
NPO法人 森倶楽部21		㈱角藤 長野本部	
安曇野建築三会		㈱唐木電設	
安曇野市生活環境課・安曇野防犯協会連合会		㈱サンジュニア	
安曇野市廃棄物対策課		自然エネルギーネットまつもと	
あづみ太陽発電研究会		自然エネルギーネットまつもとMOKUBAの会	
あづみ野建設労働組合		太陽力㈱	
安曇野市下水道課、安曇野建設事務所、(公財)長野県下水道公社		㈱竹村製作所	
安曇野市消費者の会		中部原子力懇談会	
関東農政局松本地域センター	デュプロ㈱		
㈱キクイチ	ニチコン㈱		
	松本日産自動車㈱		
	㈱モキ製作所		

参考資料5：重点プロジェクトの取り組み状況

ここでは、本年度取り組んだプロジェクトごとの成果物や実施状況の写真などをご紹介します。

①CO2 排出量を削減する

環境家計簿モニター募集

安曇野市 環境家計簿 記入の方法

記入欄	①電気 (kWh)	②LPGガス (m)	③灯油 (ℓ)	④自動車燃料	
				ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)
1月	320	3.7	0	95.2	0
2月					

①電気

- 「ご使用量」に記載されている数字を記入します。(下のサンプルの太枠内)。
- 時間帯別契約の場合は、時間帯ごとの使用量の合計を記入します。
- 太陽光発電パネルを設置している場合は、売電量を差し引かず、使用量をそのまま記入します。

②LPGガス

- 「ご使用量」に記載されている数字を記入します。(下のサンプルの太枠内)。
- ご利用のガス会社により、検針票が異なる場合があります。

(実施期間：平成26年1月1日
～平成26年12月31日)

②生物多様性を維持する

アレチウリ駆除活動 (穂高川右岸の早春賦歌碑北)



(撮影：平成25年8月31日)

③森づくりを推進する

里山再生計画検討委員会の実施



(期間：平成24～26年度)

④緑化による環境負荷の低減

「緑のカーテン」コンテスト



(撮影：平成25年8月14日)

⑤歩いて楽しいまちづくり 歩いて楽しいまちづくり事業実施 (豊科地域重柳地区)



(撮影：平成25年9月29日)

⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る 荒廃農地対策モデル事業 (明科地域)



(期間：平成25年12月18日～)

**⑦地元農産物の地域内での消費拡大をはかる
「安曇野の日」の献立**



(撮影：平成 25 年 9 月 18 日)

地域食材：ごはん、のぎわなごはんの素、とうふ、にじます、しめじ、たまねぎ、安曇野漬け
※月一回「安曇野の日」献立があり、その日を中心に地域食材をより多く使った給食が作られます。

**⑧豊かな地下水を保全する
麦後湛水検証事業**



(撮影：平成 25 年 8 月 26 日)

⑨ごみを減らそう

環境フェアでのリサイクル自転車の展示・頒布



(撮影：平成 25 年 10 月 12 日)

**⑩環境について教え学び、
取り組む仕組みづくり (1/2)**

安曇野市環境基本計画関連情報サイト「安曇野エコプラン.net」のHPリニューアル



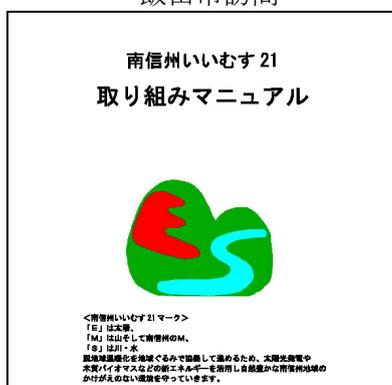
(更新：平成 25 年 7 月 1 日)

⑩環境について教え学び、取り組む仕組みづくり (2/2)

本年度まとめた環境学習プログラムの一覧

No.	プログラム	団体名等
1	快適住まいづくり相談 (省エネ・耐震・高齢化対策等)	安曇野建築三会
2	じっくりみよう 学校のまわり (景観教育プログラム)	
3	マツ枯れ被害木によるアカゲラ 巣箱づくりとマツ枯れ予防	あづみの再活の松プロジェクト
4	家庭でできるプチエコアクション	安曇野市消費者の会
5	地球温暖化防止活動/ 中小企業の EMS 支援	安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会
6	景観ウォークラリー	安曇野百選プロジェクト
7	ふるさとウォッチング	安曇野ふるさとづくり応援団
8	ぬかくど炊飯体験	
9	桜の観察会・苗木の植樹	安曇野緑の会
10	花のじゅうたん作り体験	アルプス花街道実行委員会
11	河川の自然観察会	NPO 法人 川の自然と文化研究所
12	三角島の自然と景観の紹介	三角島ふるさとの森プロジェクト
13	ツキノワグマの生態・対処法	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
14	田淵行男の人と業績	田淵行男記念館 こども自然観察教室「むしの会」
15	搾油体験	nano 花隊
16	段ボール堆肥づくり	
17	循環型農業の実践を通じた学び	バジルクラブ
18	マイ箸・箸袋づくり体験	マイ箸づくりサポートボランティア
19	楽しい里山での体験学習	NPO 法人 森倶楽部 2 1
20	屋敷林の紹介	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
21	バードウォッチングと安曇野の野鳥	野生生物資料情報室
22	安曇野の自然	
23	里山歩きと安曇野の自然	
24	安曇野自然案内人養成講座	

⑪環境マネジメントシステム (EMS) の
導入を促進する
飯田市訪問



(更新：平成 25 年 7 月 1 日)

参考資料6：安曇野環境市民ネットワーク加盟団体の年度内の活動状況

※団体独自で行った活動等については、「対象」欄を記載しておりません。

団体名	野生生物資料情報室	報告者	植松 晃岳	
		会員数		
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 4月11日	三角島サギ調査	穂高	3人	
4月22日	安曇野サクラ巡り	安曇野市内	22人	一般
5月2日	三角島サギ調査	穂高	3人	
5月20日	野鳥観察会	乗鞍高原	10人	一般
6月22日 6月23日	ライチョウ観察会	燕岳	15人	一般
6月29日 6月30日	ライチョウ観察会	燕岳	15人	一般
平成26年 2月15日	スノーシューとアニマルトラッキング	烏川溪谷 緑地	20人	一般

団体名	安曇野緑の会	報告者	小河 深美	
		会員数	28人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 3月27日	穂高北小学校 桜の植樹 (38本) ※本団体では平成25年度となる	穂高	48人	会員、PTA 小学生
4月20日	観桜会	安曇野市内	26人	一般
6月2日	春の自然観察会 (満願寺方面)	穂高	54人	公民館と共催
6月13日	オキナグサ播種	穂高	8人	
7月11日	桜の育苗場所の手入れ	穂高	8人	
7月28日	夏の自然観察会 (大峠方面)	穂高	10人	
9月15日	オキナグサ植栽	穂高	8人	
10月10日	桜の育苗場所の手入れ	穂高	8人	
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		一般
11月1日 11月2日 11月3日	文化祭 (穂高)	穂高		公民館
11月14日	桜の植樹場所の点検	穂高	10人	
3月20日 (予定)	桜の植樹 (アルプスあづみの公園)	穂高	10人	

団体名	NPO 法人 川の自然と文化研究所	報告者	松井 一晃	
		会員数	22人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 4月11日	川の自然と文化談話会 (第11回)	松本	25人	一般 大学生
7月6日	第8回川の自然と文化講演会	穂高	60人	一般
9月2日	タウン明科 水生生物観察	明科	15人	中学生
9月14日	塩沢川 生き物調査	松本	20人	親子
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		

団体名	田淵行男記念館こども自然観察 教室「むしの会」	報告者	伊藤 広美	
		会員数	147人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 4月20日	開講式、自然観察会	豊科	54人	
6月1日	自然観察会	堀金	54人	
7月13日	昆虫採集	豊科	33人	
9月14日	昆虫採集	明科	24人	
10月5日	自然観察会	堀金	12人	
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		
11月9日	化石採集	信州新町	28人	
1月11日	野鳥観察会	豊科	18人	
3月 (予定)	自然文化講演会参加、修了式	豊科		

団体名	三郷昆虫クラブ	報告者	那須野 雅好	
		会員数	20 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 4 月 7 日	開講式	三郷	20 人	
5 月 4 日	自然観察会	白馬	10 人	
5 月 5 日	自然観察会	明科	10 人	
6 月 1 日	自然観察会	堀金	10 人	
6 月 22 日	自然観察会	明科	10 人	
7 月 6 日 7 月 7 日	昆虫合宿	高遠	20 人	
7 月 20 日	自然観察会	島々谷	10 人	
8 月 17 日	自然観察会 ライトトラップ	三郷	10 人	
9 月 22 日	自然観察会	奈川	10 人	
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		
10 月 19 日 10 月 20 日	昆虫展	三郷	800 人	三郷公民館主催
11 月 3 日	自然観察会	堀金	10 人	
11 月 16 日	自然観察会	明科	10 人	
平成 26 年 3 月 8 日	ミヤマシジミシンポ	豊科	150 人	

団体名	烏川溪谷緑地市民会議	報告者	佐々木 俊之	
		会員数	32人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 4月27日	オオルリ観察会	水辺エリア	34人	一般
4月28日	オオルリ観察会	水辺エリア	23人	一般
5月19日	ネイチャア・フィーリング自然感察会	水辺エリア	5人	一般
5月25日	葉・花・実でわかる樹木観察	森林エリア	22人	一般
5月26日	烏川DVD鑑賞&園内ガイド	水辺エリア	16人	一般
6月8日	水生生物観察会 幼虫編(川での観察)	水辺エリア	12人	一般
6月8日	水生生物観察会 成虫編 (ライトトラップ)	水辺エリア	10人	一般
6月22日	身近な草花を知ろう! 外来・帰化植物観察会	水辺エリア	10人	一般
8月10日	昆虫の目から見た棲みよい森づくり	森林エリア	10人	一般
9月28日	烏川DVD鑑賞&園内ガイド	水辺エリア	11人	一般
9月21日	ネイチャア・フィーリング自然感察会	水辺エリア	8人	一般
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		
10月19日	樹木の紅葉観察学習会	森林エリア	18人	一般
11月3日	信州と飛騨を結ぶ古道(間道)を歩く	水辺エリア	25人	一般
11月10日	アブラムシ観察と標本づくり 有性世代観察	水辺エリア	6人	一般
平成26年 2月20日	アニマルトラック観察会	水辺エリア	20人	一般

団体名	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会	報告者	浜口 あかり	
		会員数		
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年	ツキノワグマ出沒時の対応	長野県内		
	児童キャンプでの課外講座	長野市		
9 月 28 日 9 月 29 日	「ぼくらの学校」での出展、講演	松本市		
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		
10 月 19 日 10 月 20 日	「茶臼山動物園まつり」への出展	長野市		

団体名	バジルクラブ	報告者	鈴木 達也	
		会員数	50 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
	味噌造り	三郷	40 人	
	トマトペースト造り、田植え	三郷	10 人	
	マルシェ	松本市	6 人	
	合鴨解体講習、慰霊	三郷	30 人	
	すんき作り講習、稲刈り	三郷	6 人	
	麴作り	三郷	12 人	

団体名	あづみの再活の松プロジェクト	報告者	佐藤 明利	
		会員数	15人+2団体	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 8月25日	アカゲラ巣箱作りワークショップ	松本市 四賀	30人	一般
9月9日	ホームタウン明科	明科中	20人	中学生
10月1日	明北小アカゲラ巣箱づくり	明科中	25人	小学生
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		
10月20日	モクフェス 木工教室	松本 アルプス公園		一般
11月1日	四賀 会田中 アカゲラ巣箱づくり	松本市 四賀	35人	中学生
12月6日	明北小 アカゲラ巣箱掛け	明科	25人	小学生
12月15日	荻原地区 アカゲラ巣箱ワークショップ	明科	20人	一般
平成26年 1月10日	「環カフェ」1月	穂高	10人	一般

団体名	三角島ふるさとの森プロジェクト	報告者	場々 洋介	
		会員数	約10人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 7月1日	アレチウリ駆除	穂高三角島	10人	
8月4日	アレチウリ駆除	穂高三角島	10人	
9月1日	アレチウリ駆除	穂高三角島	10人	
9月1日	三角島スケッチ大会	穂高三角島	40人	
10月12日 10月13日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		

団体名	屋敷林と歴史的まちなみ プロジェクト	報告者	場々 洋介	
		会員数	約 10 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 8 月	安曇野の屋敷林講演	穂高	30 人	深志高 同窓会
10 月	まちなかカレッジ	穂高	10 人	穂高
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		
10 月 13 日	ミニ屋敷林見学会	堀金	15 人	
11 月 23 日	落ち葉拾いボランティア	三郷	17 人	
平成 26 年 2 月 22 日	安曇野屋敷林フォーラム 2014	穂高	70 人	

団体名	アルプス花街道実行委員会	報告者	等々力 秀和	
		会員数	約 100 団体、1500 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 5 月 26 日	一斉定植を実施	安曇野市 全体	約 1,000 人	小、中、 高、大人
随時	草取り、水やり、花の摘花、片付け ※安曇野市全体で実施のため、約 10km 位に植えている。	安曇野市 全体	約 1,000 人	小、中、 高、大人
	花を植えて来る人、住む人と共にたのしみ、又来てもらおう又期待と思えるよう な街にする為の植え付け、それ自身が活動であり、他団体がこの団体へ参加し てもらって交流し共有し裾野を広げて活動しています。			

団体名	安曇野ふるさとづくり応援団	報告者	宮崎 崇徳	
		会員数	約 25 名	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 4 月～5 月	ふるさとさんぽ 2013 春	3ヶ所 (穂高 2、堀金)	67 人	一般
6 月 23 日	第 18 回ふるさとウォッチング	三郷	75 人	一般
9 月 24 日	ぬかくど・火起こし講座 (ホームタウン明科)	明科中	約 30 人	中学生
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		
10 月	まちなかカレッジ 2013 秋	穂高	多数	一般
10 月～ 11 月	ふるさとさんぽ 2013 秋	4ヶ所 (穂高 2、豊科、 三郷)	78 人	一般
11 月	ぬかくど・アカゲラ巣箱づくり講座	会田中	約 30 人	中学生
2 月	まちなかカレッジ 2014 冬	穂高	多数	一般

団体名	安曇野百選プロジェクト	報告者	宮崎 崇徳	
		会員数	約 15 名	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		一般
10 月 26 日	第 10 回百選ウォークラリー	穂高	約 15 人	一般
10 月 26 日	第 2 回安曇野みちあかり	穂高	多数	一般
2 月 1 日	みちあかり灯籠づくり	穂高	約 10 人	
2 月 2 日	第 3 回安曇野みちあかり	穂高	多数	一般
2 月 2 日	第 11 回百選ウォークラリー	穂高	約 25 人	
月 1 回程度	リゾートビューふるさと方言寸劇	JR	多数	一般
随時	ビューポイントあづみの募集	安曇野市内	多数	※風景写真募集

団体名	安曇野市消費者の会	報告者	平林 千代	
		会員数	78 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 4 月 11 日	講演会	豊科	40 人	
6 月 23 日	あやめまつりフリーマーケット	明科	10 人	一般
6 月 30 日	深緑ウォーキング	明科	40 人	一般
7 月 13 日	石けんづくり体験講座	豊科	3 人	一般
8 月 25 日	親子水のふれあい (犀川水系水ネットのメンバーとして)	明科	400 人	小学生 親子
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展 体験講座	堀金		一般
11 月 2 日 11 月 3 日	明科地域文化祭 展示体験講座	明科	50 人	一般
12 月 13 日	くるりん講座 石けん活用法他	穂高	6 人	一般

団体名	安曇野市地球温暖化防止活動 推進員協議会	報告者	樋口 嘉一	
		会員数	4 人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成 25 年 6 月	安曇野地域会 エコ部会 「段ボール生ごみ処理機作り」	くるりん 広場	24 人	一般
8 月 9 日	「環カフェ」8 月	穂高	13 人	一般
10 月 12 日 10 月 13 日	安曇野環境フェア 2013 出展	堀金		一般
11 月	安曇野市内企業の ISO14001 の認定取得 準備支援	安曇野市内 企業	関係者	一般
11 月 2 日	安曇野市穂高公民館 成人講座 「地球温暖化防止について」	JA 有明会館	47 人	一般
12 月 11 日	環境学習会 ユアサ電器様	ユアサ電器	8 人	関係者
平成 26 年 2 月 22 日	市民活動センター5 周年記念事業 パネル出展	くるりん 広場	10 人	一般

団体名	マイ箸づくりサポート ボランティア	報告者	矢口 今朝雄	
		会員数	120人	
日にち	内容	実施地域	参加人数	対象
平成25年 4月30日	マイ箸づくり	豊科	15人	会員
5月24日	マイ箸づくり	豊科	15人	一般
8月3日	マイ箸づくり	松本	30人	親子
10月12日	安曇野環境フェア2013 出展	堀金		一般
10月13日	マイ箸づくり			

資料編 環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

①CO₂の排出量を削減する

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 情報の提供と普及啓発
 ・市広報、ウェブページなどからの情報提供
 ・安曇野環境フェア、安曇野環境市民ネットワークフォーラムなどのイベントや公民館講座での普及啓発
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
広報あづみのへの掲載	11/20	エネルギー消費の増える冬・地球温暖化対策に取り組もう - というタイトルで、地球温暖化の概要と省エネルギー取り組みと自然エネルギーの導入について掲載	176 (11月20日発行)号へ掲載
市ホームページでの情報提供	通年	市地球温暖化対策実行計画に関する情報提供	情報提供を行った
安曇野環境フェアでの啓発	10/12・13	安曇野環境フェアでの地球温暖化防止・対策についての啓発活動	安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会・NPO法人CO ₂ バンク推進機構・3Rおじさんが参加

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : エネルギー消費量を把握することで、地球温暖化問題に関心を持ち、CO₂排出量削減に向けて行動する仕組みづくり
 ・環境家計簿による各家庭のエネルギー消費量の把握
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
環境家計簿	通年 (1月～12月)	各家庭でのエネルギー (電器、灯油、LPガス、ガソリン、軽油) の消費量を把握し、全体の平均、県平均と比較する。	H25年分は69名登録 (1/31現在、34名から報告あり。結果については集計中)

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 自然エネルギー導入促進に向けての方向性の検討
 (小水力発電、バイオマス利用等)
 ・地球温暖化対策・自然エネルギー研究会 (長野県)
 ・自然エネルギーネットまつもと等との連携
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
松くい虫被害木薪利用庁内打ち合わせ会	12/11	各担当部局 (耕地林務課、農政課、観光課、生活環境課) の情報交換と今後の課題についての話し合いを行った	耕地林務課:「天平の森」薪ボイラーの設置 農政課:市農業再生協議会での農家ハウスでの薪ストーブの導入検討について 観光課:「しゃくなげ荘」薪ボイラーの導入予定について
市内における太陽光発電設置に関する指針等について横断会議	12/12	各担当部局 (都市計画課、建築住宅課、商工労政課、企画政策課、農政課、生活環境課) の情報交換と方針等について確認し、これからの太陽光発電施設設置の方向性について話し合いを行った	土地の利用や景観についての法制度や防災の観点からの話し合いが行われた。
平成 25 年度第 1 回 地球温暖化対策・自然エネルギー研究会 (市町村研究会)	4/30	「長野県環境エネルギー戦略～第三次長野県地球温暖化防止県民計画～(2013～2020)」及び「長野県地球温暖化対策条例 (2013 年 3 月改正)」の概要説明	参加した
環境フェア 2013	10/12、13	環境フェア来場者への自分でも簡単に出来る自然エネルギーの活用方法の紹介と災害時にも使用できる手作り発電屋台の提案	

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 地球温暖化防止活動推進員協議会との共催による講座開催
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
環カフェへの参加	8/9	環カフェ (安曇野環境市民ネットワークで毎月第 2 金曜日に行われる講座) にてテーマ「地球温暖化防止について考える」を実施 長野県温暖化対策課の大林主事による出前講座「長野県における自然エネルギー推進施策について」をあわせて実施	15 名参加
環境フェア 2013 への参加	10/12、13	環境フェア来場者への協議会の地球温暖化防止の活動とその紹介	実施した
ユアサ電器(株)環境学習会	12/11	ユアサ電器(株)における環境保全のための教育、管理方法などについて学習	実施した

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 地球温暖化対策実行計画重点施策の実施
 担当課・係 : 生活環境課

内容	実施日	事業概要	実施結果等
太陽光発電の導入(事業所数)	10月	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、太陽光発電設備を導入している事業所数を把握した。	25事業所より回答、4事業所で導入済み
建物の省エネルギー改善(事業所数)	10月	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、建物の省エネルギー改善を行った事業所数を把握した。	25事業所より回答、3事業所で実施済み
環境マネジメントシステムの導入(事業所数)	10月	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、環境マネジメントシステム導入事業所数を把握した。	25事業所より回答、14事業所で導入済み
太陽熱温水器の導入(戸数)	4月～3月	安曇野市住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金交付事業を行った。	申請10件、設置中止1件 交付決定9件(平成26年3月14日現在)
太陽光発電機の導入(戸数)	4月～3月	安曇野市住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事業を行った。	申請346件、設置中止8件、不交付1件 交付決定337件(平成26年3月12日現在)
照明のLED化(個)	1月20日～28日	豊科商店街街路灯のLED化整備事業を行った。	計71本
エコドライブの実践	10月12日～13日	安曇野環境フェア2013に推進事業者が出展した。	キッセイ薬品工業㈱が出展したエコドライブシュミレーターにより意識啓発がなされた。
エコカーの導入(台数)	10月12日～13日	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、エコカーを導入した事業所数を把握した。 安曇野環境フェア2013に推進事業者が出展した。	25事業所より回答、14事業所で導入済み 松本日産自動車㈱が出展した電気自動車により意識啓発がなされた。
緑のカーテンや屋上緑化の導入	7月24日、6月3日、10月12日～13日	広報誌掲載 「緑のカーテン講座」実施 「緑のカーテンコンテスト」実施 (安曇野環境フェアで表彰)	30名参加 19名応募

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 事業者のCO₂排出量の把握
 ・改正省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により算出された二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量の把握
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
安曇野市地球温暖化対策実行計画に伴うアンケート	10月	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、年度ごとのCO ₂ 排出量を把握する。	H24年度分については13事業者より回答

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ① CO₂の排出量を削減する
 実施内容 : 事業者のエネルギー消費量の把握
 ・改正省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）
 により算出されたエネルギー使用料の把握
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
安曇野市地球温暖化対策実行計画に伴うアンケート	10月	安曇野工業会会員事業者を対象にアンケート調査を実施し、年度ごとのエネルギー使用量を把握する。	H24年度分については14事業者より回答

②生物多様性を維持する

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : (2) 生物多様性を維持する
 実施内容 : ●安曇野市版レッドデータブック (以下 RDB) の作成
 ①作成委員会の開催
 ②RDB 原稿の完成
 担当課・係 : 生活環境課・環境基本計画推進係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①作成委員会の開催	5月7日 9月9日 12月9日 平成26年3月17日 7月22日 10月28日 11月25日 平成26年1月17日 1月27日 2月6日 2月24日	・作成委員会の開催 (回数については前年度からの通番) 第8回 第9回 第10回 第11回 ・作成部会の開催 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	安曇野市版レッドデータブックの完成に向けて、 レッドリスト種等の最終調整・確定、記載内容の 確認などを実施
②RDB 原稿の完成	平成26年3月	・RDB 原稿完成	RDB 原稿完成 (予定)

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : (2) 生物多様性を維持する
 実施内容 : ●外来種 (動植物) 対策の推進
 ①広報や出前講座などによる啓発
 ②各区によるアレチウリ一斉駆除作業
 ③市民団体などによるアレチウリ、オオカワヂシャ、
 オオキンケイギクなどの外来植物の駆除作業
 ④外来種駆除の効果検証
 担当課・係 : 生活環境課・環境基本計画推進係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①広報や出前講座などによる 啓発	6月19日 6月16日 通年	・「広報あづみの」への掲載 ・アレチウリ駆除事前研修 ・協働のまちづくり出前講座 安曇野自然環境保護講座 「特定外来生物の拡大を防ぐために」	第167 (6月19日) 号に1ページ掲載 区長・環境部長等、約100人参加 平成25年度応募なし
②各区によるアレチウリ一斉 駆除作業	6月9日 ～10月13日	・アレチウリが繁殖している区について、年1 ～3回程度駆除作業	56行政区、のべ5817人参加
③市民団体・事業者などによる アレチウリ、オオカワヂ シャ、オオキンケイギクな どの外来植物の駆除作業	5月1日 ～9月31日 3月～4月	・穂高三角島、早春賦周辺のアレチウリを年3 ～4回程度駆除作業 ・高速道路法面のオオキンケイギクなどの駆除 作業	三角島ふるさとの森プロジェクト 4回、のべ78人参加 穂高川アレチウリ駆除ボランティア 3回、のべ61人参加 NEXCO東日本で実施
④外来種駆除の効果検証	10月	・駆除作業の結果について確認	区長会および市民団体などへの意見収集 薬剤使用、耕作放棄地での駆除、国・県・市 有地の対応などが寄せられる

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : (2) 生物多様性を維持する
 実施内容 : ●松くい虫対策及び有害鳥獣対策の効果の検証
 ①自然環境への影響の把握
 ②必要に応じた対策への提言
 担当課・係 : 農林部耕地林務課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①自然環境への影響の把握	5月～10月	・森林巡視員5人による松枯損木調査	被害木 926 本発見
②必要に応じた対策への提言	通年	・松くい虫被害緊急対策事業、保全松林緊急保護整備事業による松枯損木伐倒処理	処理量材積 5,330 m ³
	通年 (猟期を除く)	・有害鳥獣捕獲業務 市猟友会に捕獲業務委託 ニホンジカの個体数調整目標：70 頭	79 頭捕獲

※ニホンジカの「狩猟」分について県所轄であるため、県に確認。
 わなの猟期が3月15日までなので、各猟師からの報告はこれからのため、現在は不明。
 そのため、市の業務である個体数調整の分のみと分かるように記載しました。

③森づくりを推進する

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : (3) 森づくりを推進する
 実施内容 : ●安曇野市里山再生計画の策定
 ①検討委員会の開催
 担当課・係 : 農林部耕地林務課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①検討委員会の開催	8月8日 10月28日 平成26年2月17日	・検討委員会の開催 (回数については前年度からの通番) 第7回 第8回 第9回	里山再生計画(素案)の作成
	9月10日 10月18日 11月12日 11月19日 9月4日 10月2日 12月4日 9月2日 10月8日 12月10日	・各ワーキンググループ(以下WG)の開催 ○里山整備WG 第1回 第2回 第3回 第4回 ○普及啓発WG 第1回 第2回 第3回 ○環境保全WG 第1回 第2回 第3回	里山再生計画(素案)へ掲載

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : (3) 森づくりを推進する
 実施項目 : ●森林整備等の広報・啓発活動の拡充
 ①NPOや市民団体等による森林についての啓発活動
 ●森林整備活動の推進
 ①市民や事業者が参加できる活動機会の創出及び積極的参加
 ②森林(もり)の里親事業の展開
 ③みどりの少年団活動による緑化活動や環境教育の推進
 ④学有林活動による下刈り、除伐、間伐等の実施
 ⑤森林税を活用した地域協議会による森林整備の集約化及び整備活動の拡充
 担当課・係 : 農林部耕地林務課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
●森林整備等の広報・啓発活動の拡充 ①NPOや市民団体等による森林についての啓発活動	11月10日 4月～3月	・自然観察会及び森林整備活動	NPO 法人森倶楽部 21 参加人数 22 人 長野県鳥川溪谷緑地 (からすの学校・市民会議) のべ参加人数 250 人
●森林整備活動の推進 ①市民や事業者が参加できる活動機会の創出及び積極的参加			NPO 活動や森林里親事業において市民等が活動できる機会があったため、市独自では計画しなかった。
②森林(もり)の里親事業の展開(継続) 「富士電機グループふるさとの森林」 「長野朝日放送、森倶楽部 21」 「JA 全農長野、マイパール長野」	5月18日 6月15日 9月28日 10月12日	・一般市民参加者や企業関係者による植林、除間伐、下刈等の作業	7 回実施 参加人数のべ 328 人 「富士電機グループふるさとの森林」 実施場所：堀金まゆみ池 58 人 46 人 52 人 58 人 計 4 回のべ参加人数 214 人
	4月29日 7月12日 10月20日		「長野朝日放送、森倶楽部 21」 実施場所：長峰山 天平の森 63 人 51 人 雨天中止 計 2 回のべ参加人数 114 人 「JA 全農長野、マイパール長野」 支援金のみで活動なし
③みどりの少年団活動による緑化活動や環境教育の推進	8月2日	・松本地区みどりの少年団交流集会	7 団体のべ参加人数 44 人 (参考) 各学校の活動 豊科南小学校 ビオトープにおける清掃保全作業 徳高北小学校 天蚕林活動・花壇作業 徳高南小学校 花壇作業外 堀金小学校 花壇作業等 明北小学校 椎茸のコマ打ち 徳高西中学校 花壇作業・学有林作業 堀金中学校 学有林作業(台風により中止)、
④学有林活動による下刈り、除伐、間伐等の実施	5月～9月	・学有林の除間伐作業	6 学校のべ参加人数 640 人 豊科南中学校、豊科北中学校、徳高西中学校、明科中学校、島内小学校、岡田小学校(安曇野市外の学校については、市内に学有林があるため)
⑤森林税を活用した地域協議会による森林整備の集約化及び整備活動の拡充	通年	・森林経営計画策定に伴う集約化	2 団体 135ha の集約化 松本広域森林組合：明科 1 団地 60ha、徳高 2 団地 49ha、 山仕事創造舎：明科 1 団地 26ha、

④緑化による環境負荷の低減

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ④緑化による環境負荷の低減
 実施内容 : 公共施設等における緑のカーテンの実施
 ・設置個所の拡大を図る
 ・オーシャンブルー等緑のカーテンの普及を図る
 ・オーシャンブルー、ゴーヤ等の育成講座の開催
 ・夏場対策の講座開催
 ・課題の抽出と改善点を明らかにする
 緑化策のマニュアル作成、ホームページ掲載
 担当課・係 : 市民環境部生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
公共施設等における緑のカーテンの実施 ・設置個所の拡大を図る ・オーシャンブルー等緑のカーテンの普及を図る ・オーシャンブルー、ゴーヤ等の育成講座の開催 ・夏場対策の講座開催 ・課題の抽出と改善点を明らかにする 緑化策のマニュアル作成、ホームページ掲載	平成 25 年 5 月 22 日	広報あづみでの「緑のカーテン」周知	
	平成 25 年 6 月	オーシャンブルー、ゴーヤの苗配布	庁内施設 36 施設
	平成 25 年 6 月 3 日	緑のカーテン講座開催【くるりん広場】 講演「緑のカーテンの育て方」 講師 NPO 法人 あづみ野風土社 理事長 磯野 康子 「日本の暑さと上手につき合うために」 ～エネルギー消費 50%削減を目指します」 推進会議委員 岡江 正	参加者 30 人
	平成 25 年 8 月 1 日～ 8 月 31 日	「緑のカーテン」コンテスト実施	19 件の応募
	平成 25 年 10 月 13 日	「緑のカーテン」コンテスト表彰式実施	3 名の受賞
	平成 25 年 12 月 4 日	広報あづみでの「緑のカーテン」コンテスト結果周知 市ホームページで「緑のカーテン」コンテスト応募画像公表	

校庭・園庭の芝生化に伴うアンケート

1. 維持管理事項（誰がどのように）及び伴う維持管理経費に伴う経費（概算）をご記入ください

	維持管理	刈りこみ 回数/年	肥料		除草剤		散水		経費	備考
	主体		施肥	回数/ 年	散布	回数/ 年	散水	回数/ 日	合計	
豊科南部保育園	PTA・委託	3	未実施		未実施					
安曇野市穂高交流学習センター	委託	29	実施	4	実施	3	実施		531,790	
穂高西小学校	PTA・児童 (掃除当番)	2								刈り込み回数は掃除当番を除く
有明の森保育園	PTA	3								
有明あおぞら保育園	PTA・児童・ 職員	2			未実施					刈り込み回数は児童・職員分を除く
三郷小学校	委託		実施				実施		1,300,000	
三郷北部保育園	委託	25	実施	1	実施	1	実施	1		施肥:1月、除草剤散布:5月 散水:11本のバルブで7分間を 1回、7~9月は2回
三郷南部保育園	委託									
三郷東部保育園	委託	25	実施	6	実施	1	実施	2	555,555	施肥:化学肥料、液体肥料各3回
三郷西部保育園	委託	25	実施	6	実施	1	実施		約50~ 60万円	
回答数	10	8	6	4	6	4	5	3	4	

2 芝生化のメリットをご記入ください

寄せられた回答を、景観に関するもの、園内・校内生活に関するもの、省エネに関するもの、まちづくりに関するものに分類しました。(同じ内容の回答についてはまとめて括弧内に回答数を記載)

芝生化のメリット	
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・広々とした緑地面を見ることで、児童の気持ちも落ち着くように思われる。(3) ・見た目、緑が多く癒される。(2) ・芝生の緑が目にも心にも優しい。(2) ・トラック内の芝生は、見た目には良い。 ・景観としても涼やかでよい。
園内・校内生活	<ul style="list-style-type: none"> ・転んでも痛み、怪我が少ない。怪我をしにくい。(6) ・砂埃が立ちにくい。(4) ・裸足で活動する時気持ちが良い。(3) ・冬や春先でも、どろどろにならずに庭で遊ぶことができる。泥を室内に持ち込まない。(3) ・昆虫を見つけて遊ぶことができる。 ・寝転がって遊べる、寝転がっても砂がつかない。 ・芝を植えることによって荒れている場所が管理場所となることはよい ・運動会の練習で芝生の上で一息つくなどできる。また、当日も、芝生の上に椅子を置いて観戦するため、かなりの暑さ対策になる。
省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の暑さ対策として効果が大きい。 ・管理棟の南庭の芝生は、管理棟への反射熱をさえぎってくれるため涼しい。 ・涼しい風が入ってくる。(夏の暑さをしのげる) ・スプリンクラーで散水できるため夏の暑さをしのげる。 ・真夏の体感温度が少しでも違うように思われる。
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場としてや憩いの場として日々市民に大変親しまれている。5月には安曇野で活躍する個性豊かなつくり手(手仕事の作家や職人たち)と、そこから生み出されるモノを日常の道具として扱うつかい手(市民)との交流の場である「安曇野さんぼ市」(安曇野案内人倶楽部 安曇野さんぼ市実行委員会主催)、11月には安曇野の自然と文化を考える会の発表会会場として使用していただいている。 ・導入当初の理由の一つでもある、地域の方からの砂ぼこりの予防としても有効です。

3 芝生化のデメリットをご記入ください

寄せられた回答を、維持管理に関するもの、園内・校内生活に関するものに分類しました。(同じ内容の回答についてはまとめて括弧内に回答数を記載)

芝生化のデメリット	
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生の管理が大変。(5) ・年間を通じて維持管理のための手間や経費が必要となる。 ・現在植わっている芝が、寒冷地には適さないと思われる。鳥取県の暖地の例があるようですが、育成が遅く、春先から雑草の出に追いつかない。また、除草剤が簡単には使用できない。 ・雑草のスピードが速い。高麗芝が望ましい。 ・暗渠排水が詰まり、散水の水が引かないことがあった。日常的に散水するので、目詰まりもしやすいか。 ・水道量等維持費が高い。(手入れをしないと保たれないため) ・雑草が入り易いが、草取りまでなかなか手が回らない。
園内・校内生活	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが制限される。(7) <li style="padding-left: 20px;">泥んこ遊びが十分できない (4) <li style="padding-left: 20px;">三輪車やキックスクーターで遊べない。シャボン玉やボディーペインティングで十分遊べない。(「芝生によくない」と規制がある。) <li style="padding-left: 20px;">園庭使用の制限が大きい。(シャボン玉、石鹸、絵の具等使用禁止) <li style="padding-left: 20px;">白線などみえにくいいため、遊びが規制される。 ・冬場は芝生を休める時期ですが、保育園の場合は子ども達に乗らないように言ったりすることをしていませんし、斜面なのでそこでそり遊びをしてしまい、芝生がなくなってしまっているところもあります。管理が難しいです。 ・校庭の使用期間が限られる。(芝の育成を痛めるということで、芝生に入れられない期間がある。) ・体育の場として、形状から全ての種目に適合しているわけではない。(野球は、ダイヤモンドに芝生の部分とそうでない部分がかかる。サッカーでは、場所によって下の状況が違う、など。) トラック競技には不向き。 ・グラウンドでの体育や活動で制限されることもある。 ・本校は大勢の児童が日常的に遊ぶので、芝生の消耗が激しい。 ・業者の作業はほぼ休日なので、授業が制限されることはないが、休日に遊びに来ている児童に我慢してもらっている。 ・不衛生(ダニや小さい虫が寄生し、それを鳥が食べに来てフンをする。きのこが生える。猫の侵入等) ・ケガの痛さを知らずにすごしてしまい、少しケガをしても耐えられない。 ・運動会のためのラインが通常のものでは使えないので、有料で業者にやっていただいている。 ・穴が掘れない ・石灰が使いにくい(線が描きにくい、見えにくい、芝生専用は値段が高い)

4 校庭・園庭等の芝生化に伴うご意見をご記入ください

寄せられた回答を、維持管理に関するもの、園内・校内生活に関するもの、省エネに関するもの、まちづくりに関するものに分類しました。

維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭は芝生よりもクローバーの方が管理が簡単でありがたいような気がします。 ・現在の植えてある芝の種類が、課題である。土や気候に合う芝ならば、課題が改善されるのではないか。 ・管理をしっかりしてもらえれば良いと思う。 ・管理が大変なので必要ないと思います。 ・費用を市で見ただけなので、継続ができています。職員だけでは無理だと思われる。児童が芝の種まきから植え替えまで行った年もあるが、なかなか子どもの手には負えない作業だった。芝生の愛称を「みどりちゃん」と呼び、親近感を感じている。 ・スプリングクラーは校地内を流れる水路から水源を取っている。上水道を使用するとかなり水道料金がかかるが、本校は幸い水路水が使えてありがたい。 ・(委託の場合) 管理についてはしっかり情報を入れてほしい。(どのようなことをしたのかはだいたい分かるが報告がない場合があるのでよく分からない。) ・芝生は、簡単に育てられないことを痛感し、良い面もたくさんあるが維持は、自分たちでは、できない。※水、肥料、除草、芝目砂散布、芝刈りの回数ของ多さ等
園内・校内生活	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭や低学年の遊具の周囲など、校庭以外の場所の芝生化は好ましいと思われる。 ・学校の土の校庭のノウハウがあるなかでの芝生化の優位性は疑問 ・芝生植栽については当初、教育活動に影響を及ぼさない条件であった。影響が出ている ・保育園の庭には良いと思う。(三郷の保育園を経験してみて) ・芝でのメリットは子どもたちにとっても有難いが、制限されることもあるので可能なら芝生は部分的にあれば有難い。(新設の三郷地区の保育園は芝生にしない予定だそうです) ・芝生の良い面もあるが、全面でない方がよい。どちらもあるとよい。バランス、位置など十分な検討が必要だと思われる。
省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減のための効果的施策として芝生化以外のものがあるのでは
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の土が巻き上がったたりして周りにご迷惑をおかけしてしまう場合には全面的に必要かもしれません。 ・休憩場所や子どもの遊び場として最高な場所だ、などと高評価を頂戴している。 ・社会体育で校庭を使用する団体にも、芝の管理に協力してほしい。(定期的に除草するなど) ・住民参加が必要である。芝生のボランティア組織の構成を呼びかけたが、集まらない。 ・学校としても地域としても砂埃り対策としてはよい。

校庭・園庭の芝生化に伴うアンケート（H25年度）

施設名 安曇野市穂高交流学習センター

1 維持管理事項（誰がどのように）及び伴う維持管理に伴う経費（概算）をご記入ください

(1) ティフトン芝(3,092 m²)・野芝(400 m²) 維持管理(植樹帯含む)委託

	内容	日数	作業延時間	経費(円)
4月	刈り込み、除草等	3	40	34,020
5月	刈り込み、除草、施肥等	4	63	53,340
6月	刈り込み、除草、散水等	3	46.5	39,060
7月	刈り込み、除草、散水等	4	56	52,080
8月	刈り込み、除草、散水等	4	60	55,860
9月	刈り込み、除草、散水等	3	39	33,600
10月	刈り込み、除草等	4	63	53,340
11月	刈り込み、除草等	4	55.5	52,500
合計		29	423	373,800

(2) 除草剤散布(シロツメクサ等広葉雑草の茎葉処理) 業務委託 春2回、秋1回 89,250円

(3) 散水のための水道料 約30,000円

(4) 草払機、芝刈り機燃料代

	混合油(円)	ガソリン(円)	経費(円)
5月	740	2,426	3,166
7月	925	2,646	3,571
8月	1,504	3,000	4,504
9月	955	0	955
10月	378	3,020	3,398
11月	935	2,891	3,826
合計	5,437	13,983	19,420

(5) 肥料代 19,320円

2 芝生化のメリットをご記入ください

子どもの遊び場としてや憩いの場として日々市民に大変親しまれている。5月には安曇野で活躍する個性豊かなつくり手(手仕事の作家や職人たち)と、そこから生み出されるモノを日常の道具として扱うつかい手(市民)との交流の場である「安曇野さんぼ市」(安曇野案内人倶楽部 安曇野さんぼ市実行委員会主催)、11月には安曇野の自然と文化を考える会の発表会会場として使用していただいている。

3 芝生化のデメリットをご記入ください

年間を通じて維持管理のための手間や経費が必要となる。

4 校庭・園庭等の芝生化に伴うご意見をご記入ください

休憩場所や子どもの遊び場として最高の場所だ、などと高評価を頂戴している。

※ご協力ありがとうございました

校庭・園庭の芝生化に伴うアンケート（複数枚可）

施設名 穂高西小学校

1 維持管理事項（誰がどのように）及び伴う維持管理に伴う経費（概算）をご記入ください

現在、芝生の管理はPTA作業の年2回。学校の掃除当番（児童）が実施。

2 芝生化のメリットをご記入ください

- ① トラック内の芝生は、見た目には良い。
- ② 運動会の時、組体操では落下の際にケガがしにくく安全に寄与している。また、風のひどい時に砂埃が立ちにくい。寝転がっても砂がつかない。

3 芝生化のデメリットをご記入ください

- ① 現在植わっている芝が、寒冷地には適さないと思われる。鳥取県の暖地の例があるようですが、育成が遅く、春先から雑草の出に追いつかない。また、除草剤が簡単には使用できない。
- ② 校庭の使用期間が限られる。（芝の育成を痛めるということで、芝生に入れない期間がある。）
- ③ 体育の場として、形状から全ての種目に適合しているわけではない。（野球は、ダイヤモンドに芝生の部分とそうでない部分がかかる。サッカーでは、場所によって下の状況が違う、など。）

4 校庭・園庭等の芝生化に伴うご意見をご記入ください

- ① 中庭や低学年の遊具の周囲など、校庭以外の場所の芝生化は好ましいと思われる。
- ② 現在の植えてある芝の種類が、課題である。土や気候に合う芝ならば、課題が改善されるのではないか。
- ③ 社会体育で校庭を使用する団体にも、芝の管理に協力してほしい。（定期的に除草するなど）
- ④ 住民参加が必要である。芝生のボランティア組織の構成を呼びかけたが、集まらない。

⑤歩いて楽しいまちづくり

環境基本計画年次計画重点PJ実施結果報告書

重点PJ名 : ⑤歩いて楽しいまちづくり
 実施内容 : 「歩いて楽しいまちづくりPJ」理事者説明・部長会議提出
 「歩いて楽しいまちづくりPJ」の実践
 ① 重柳地区
 ・地域住民が取り込める事業の検討
 ・事業実施にあたっての関係団体、関係部署との調整
 ・事業の実施
 ・事業実施を通して、課題の抽出、今後の展開についての検討
 ② 実践対象モデル地区の確定
 ・モデル地区の「いいところ」の把握
 ・モデル地区の情報マップ作成
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
「歩いて楽しいまちづくりPJ」	平成 25 年 4 月 26 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」(案) 理事者説明	
	平成 25 年 5 月 15 日 平成 25 年 6 月 24 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」(案) 部長会議説明	承認(補足説明要) 補足説明了承
	平成 25 年 6 月 13 日	明科潮沢区長に取組発信イベント開催の打診	了承
	平成 25 年 7 月	第 2 回地域区長会において説明及びモデル地区の募集	
	平成 25 年 7 月 23 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」事業打ち合わせ会議 (ペンション協議会、環境市民NW、庁内関連部署)	取組発信周知・モデル地区選定 ① 田園・集落地域(豊科重柳) ② 山麓・里山地域(明科潮沢)
	平成 25 年 8 月 21 日 平成 25 年 8 月 26 日	明科地域潮沢区ウォーキングコース下見 豊科地域重柳区ウォーキングコース下見	イベント事業内容検討
	平成 25 年 9 月 20 日 平成 25 年 9 月 29 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」豊科地域重柳区打ち合わせ 「歩いて楽しいまちづくりPJ」豊科地域重柳区開催	イベント事業内容検討 参加者 23 名
	平成 25 年 10 月 16 日 平成 25 年 10 月 24 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」事業打ち合わせ会議	重柳地区イベントの反省 潮沢地区イベントの検討
	平成 25 年 11 月 2 日	「歩いて楽しいまちづくりPJ」明科地域潮沢区開催	参加者 17 名
	平成 26 年 1 月 29 日	潮沢区長との打ち合わせ	潮沢区モデル地区応諾確定 課題解決に向けた要望の把握

⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 農地・水保全管理支払交付金事業
 ・対象集落数の拡大
 ・共同による農地・農業用水・農村環境の保全活動
 ・農業用施設の長寿命化の取組み
 担当課・係 : 農林部 耕地林務課 耕地担当

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
農地・水保全管理支払交付金事業	通 年	・活動組織（集落）数の拡大	32 組織（H24）→ 40 組織（H25） （内訳） ・共同活動取組組織 31 組織（H24）→ 39 組織（H25） ・向上活動取組組織 28 組織（H24）→ 36 組織（H25） （組織重複有）
		・共同活動 農家と非農家が協力して地域ぐるみで行う 水路・農道等の保全管理の取組み	・水路の泥上げ、畦畔法面の草刈り、花の植栽、 アレチウリの駆除等の活動により、地域環境 が改善された
		・向上活動 水路・農道等の補修・更新工事	・水路の漏水補修、分水ゲートの修繕等を行い、 農業用施設の長寿命化を図った

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 耕作放棄地対策
 現地調査（実施～集計～まとめ～有効活用）
 ・耕作放棄地対策相談窓口の充実
 ・耕作放棄地解消補助事業等促進
 （草刈り機・トラクター貸出事業）
 担当課・係 : 農林部農政課集落支援係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
荒廃農地調査	・6月～7月 ・12月	新たな耕作希望者への情報提供等に活用 するため、荒廃農地の実状を把握しデー タ化した資料を作成する。	3人の専属調査員により、市内662筆の荒廃農地 の現地調査を実施し資料を作成した。12月末ま でに、約6.2haの解消につながった。
耕作放棄地解消作業機貸出し事業 （市農業再生協議会）	通 年	軽微な耕作放棄地を再生させるため、当 該農地を耕作する者に対し歩行型草刈機 を無償貸与する。	穂高、三郷、明科に配置する3台が活用された。 【H24年度実績 利用件数:65件、面積:18.8ha】 ※H25年度は未集計（前年並みの見込み）

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 青年就農給付金事業（国庫事業）の活用、新規就農者生活支援金支給事業（市農業再生協議会事業）並びに親元就農促進事業（市）の推進
 ・対象者の公募、申込受付～決定～補助金交付
 ・対象者への農地情報提供、営農指導等
 ・対象者からの実績報告
 担当課・係 : 農林部農政課集落支援係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
青年就農給付金事業	半年ごと年2回 給付(9月・3月)	新規就農者に対し経営が軌道に乗るまでの5年間、国から150万円/年を給付する。	給付者：12名 新たな担い手の確保・育成を推進した。
新規就農者生活支援金支給事業	四半期ごと年4 回給付	上記制度対象外の就農者に3年間、市農業再生協議会から上限5万円/月を給付する。	給付者：3名 新たな担い手の確保・育成を推進した。
親元就農促進事業 (親元就農支援金)	9月給付	認定農業者の子や孫の就農者に対し5年間、市から20万円/年を給付する。	給付者：26名 農業後継者の育成・農業定着を推進した。
親元就農促進事業 (機械等整備補助金)	通年申請受付	上記就農者が整備する農業用機械等の取得費用を、補助率3/10以内で補助する。	申請者：8名（12月末まで） 農業後継者の育成・農業定着を推進した。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 中山間地域等直接支払事業
 ・中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、集落で農地の管理方法や役割分担を決めた「協定」を締結し、地域ぐるみで農地を守る
 担当課・係 : 農林部農政課集落支援係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
中山間地域等直接支払事業	通年	協定締結集落に対し、国・県・市から農業生産活動を支援する交付金を交付する。	15集落・約10haの農地を対象に約1,600万円が交付され、農地・農村機能が維持されている。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 農業体験講座の開催により、新規就農を目指す方の支援を行うとともに市民も参加する。
 ・市内6団体の農業塾及び体験農場の開講支援
 ・市民も事業に協力するとともに積極的に参加する
 担当課・係 : 農林部農政課集落支援係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
安曇野市農業塾等農業者育成活動支援事業	通 年	新規就農者の育成を目的に会員を募り、野菜栽培等の実地研修を行う農業塾や体験農場に対し、市からの補助金により活動を支援する。	市内5組織において、新規52名を含む174名の会員による活動が行われた。 【補助金総額：1,256,000円(確定見込み)】

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑥耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
 実施内容 : 人・農地プラン作成
 市内のJA支所単位で、人と農地の問題の解決に向けた新たな地域農業の仕組みを作成する(14地区で作成)
 担当課・係 : 農林部農政課集落支援係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
人・農地プラン検討会 (豊科地域)	H25. 11. 20	暫定4プラン(豊科、南穂高、高家、上川手)の見直し	プラン毎に「中心となる経営体」の新たなリストアップ等を検討した。
人・農地プラン検討会 (堀金地域)	H25. 12. 20	暫定2プラン(三田、鳥川)の見直し	プラン毎に「中心となる経営体」への具体的な農地集積等を検討した。
人・農地プラン検討会 (穂高、三郷、明科地域)	H26. 3月上旬 開催予定	3地域別に暫定プランを見直す予定	地域の中心となる経営体への農地の利用集積を推進するため、プラン毎の検討を実施する予定。

⑦地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 学校給食における地域食材の使用率向上
 担当課・係 : 学校給食課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
地産地消の推進 ・地元食材（県内産）の使用率の向上 ・米は安曇野産を使用する 「安曇野市学校給食理念（目標）」	通年	学校給食における地域食材の使用率向上	地域食材使用率（目安値） 市内産：21.6% 県内産：44.3% （県への報告数値：品目数による割合）
	月1回	「安曇野の日」の実施による地域食材を使用した献立給食の提供	児童・生徒へ地域食材の紹介

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 学校給食における地域食材の使用率向上
 担当課・係 : 農政課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
学校給食における地域食材の使用率向上	通年	市内4か所の学校給食センターへの安曇野市内農産物の納入状況の調査と使用の推進	米については安曇野産米の使用は十分に使用している。 野菜については季節によるがJAおよび各地域の直売所よりの野菜等の供給を行う。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 地元農家による青空市等の拡大
 担当課・係 : 農林部農政課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
地元農家の青空市等の拡大	通年（農産物の有る季節）	直売所におけるイベント及びその他の場所での地域農産物の販売	直売所での不定期でのイベントの実施と観光地などでの臨時直売の実施により、安曇野の農産物のPRができた。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 地元産農産物の使用割合把握
 ・農産物直売所を中心に、地元農産物仕入高（売上高）調査を実施
 担当課・係 : 農林部農政課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
地元産農産物の使用割合把握	通年	農産物直売所での地元農産物の出荷量の把握	安曇野産及び安曇野周辺の農産物についてはどうしても冬場になると不足がちであるため、空きハウスの利用などを今以上に推進する必要があり、一部については実施している。 季節により地元産の農産物については非常に変化がある。農産加工品については地元産は供給されている。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : エコファーマー、県認証農家の育成を図る
 ・農業再生協議会主催による「環境に配慮した安全・安心な農業講座」の開催
 担当課・係 : 農林部農政課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
環境にやさしい農業推進事業	第1回講座:6/4 第2回講座:7/30 第3回講座:11/7 第4回講座:2/5 (予定) 視察研修:9/13	松本農業改良普及センターから講師をお招きし、エコファーマー認証取得を目指す「環境にやさしい農産物栽培研修講座」を開設した。また、東京都武蔵野市のアンテナショップを視察し、消費者のニーズや環境にやさしい農産物に対する関心について学んだ。	今年度受講者は5名である。2月に第4回の講座を実施し、エコファーマー認証の申請について説明する予定である。なお平成24年度受講生のうち6名がエコファーマー認証を取得した。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 地元農産物消費拡大
 ・「農業体験講座」等を増やし、播種から収穫までの一連の作業や作物の加工体験を行い、農業に対する理解と交流の促進に取り組む
 担当課・係 : 農林部農政課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
地元農産物の消費拡大	通年	農業体験講座の実施 播種～収穫 加工体験など	それぞれの地域等においてのいくつかの体験メニューの実施によりニーズに応えられた。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑦ 地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
 実施内容 : 地元農産物消費拡大
 ・「農業体験講座」等を増やし、播種から収穫までの一連の作業や作物の加工体験を行い、農業に対する理解と交流の促進に取り組む
 担当課・係 : 農林部農政課

実施主体	事業名	場 所	実施期間	回数	参加人数/回	延べ参加人数
コープながの、JAあづみ	国際協力田植体験	堀金烏川	5月	1	126	126
コープながの、JAあづみ	ふれあい農園	豊科南穂高	5月～10月	3	15	46
あづみ野農業塾	安曇野農業塾	豊科高家他	4月～3月	12	68	570+実習
堀金公民館	農業体験講座	堀金	5月～12月	7	6	42
三郷やすらぎ運営委員会	やすらぎ農場 ふれあいセミナー	三郷温	5月～3月	10	30	255
穂高土曜農業塾	穂高農業体験塾	穂高有明	3月～12月	10	33	282+実習
烏川体験農場	烏川農業体験	堀金烏川	2月～1月	14	33	360+実習
三田体験農場	三田農業体験	堀金三田	4月～3月	8	21	130+実習
あかしな農業塾	明科農業学習塾	明科東川手他	3月～12月	12	22	220+実習
合 計	9箇所	—	—	—	—	—

延べ参加人数については実習、管理当番、個人での管理等があり把握できない事業があります。

⑧豊かな地下水を保全する

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑧豊かな地下水を保全する
 実施内容 : アルプス地域地下水保全対策協議会との連携を図る
 ・平成25年度アルプス地域地下水保全対策協議会
 担当課・係 : 生活環境課 環境保全係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
平成25年度アルプス地域地下水保全対策協議会	5月27日、7月31日、2月12日(予定) ※WGを4回開催	アルプス地域地下水保全対策協議会担当者会議の開催	5月：各市町村の取り組み状況報告、協議課題、事業計画(案) 7月：事業計画スケジュール(案)、広域的なルールづくりのためのWGについて

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑧豊かな地下水を保全する
 実施内容 : 水環境基本計画策定の検討
 ・計画策定委員の選定
 ・計画の方針、策定までのスケジュール決定
 担当課・係 : 生活環境課 環境保全係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
計画策定委員の設立	9月	庁内調整	委員は、有識者、関係団体代表、国・県関係等で組織する予定。具体的な人選は未定。
計画の方針、策定までのスケジュール決定	9月	庁内調整	計画内容は、涵養のガイドライン化などを予定。平成29年度の実行を目指す。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑧豊かな地下水を保全する
 実施内容 : 水資源対策協議会の運用
 ・協議会の役割、方針の決定
 ・地下水位のモニタリング及び結果の公表
 ・麦後湛水検証事業の実施
 担当課・係 : 生活環境課 環境保全係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
協議会の役割、方針の決定	平成25年7月11日	総会開催	事業計画策定
地下水位のモニタリング及び結果の公表	通年	明科地下水位観測所 ：自記水位計による連続観測 12ヶ月 堀金地下水位観測所 ：手動水位計による観測 12ヶ月	
麦後湛水検証事業の実施	7月～10月	麦刈取り後の圃場への湛水事業 ：7月～8月 調査結果とりまとめ等：9月～10月	実施規模：市内50箇所、合計面積10.9554ha 推定涵養量：約15.6万t

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑤豊かな地下水を保全する
 実施内容 : 市民へ情報提供し地下水保全に対する意識の向上を図る
 ・ 広報、ホームページへの掲載
 ・ 出前講座の実施
 担当課・係 : 生活環境課 環境保全係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
広報・ホームページへの掲載	4月	4月1日、ホームページ掲載 広報あづみの4月24日発行分掲載	井戸の設置状況届出お知らせ
出前講座の実施 (安曇野市協働のまちづくり 出前講座にメニュー掲載)	7月3日 2月7日	出前講座実施 (7/3 市民活動センター、2/7 明科公民館) 地下水保全講座：「安曇野の水資源を次世代へ」	参加者 40人(7月3日) 30人(2月7日)

⑨ごみを減らそう

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 事業者への減量化と適正処理の協力要請
 担当課・係 : 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
事業者への減量化と適正処理の協力要請	平成25年11月27日	一般廃棄物収集運搬許可業者に対する、事業系ごみの減量等及び適正処理について説明会を開催した	許可業者25社中、20社出席

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 収集運搬業者に向けた研修会
 担当課・係 : 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
収集運搬業者に向けた研修会	平成25年11月27日	一般廃棄物収集運搬許可業者に対する、事業系ごみの減量等及び適正処理について説明会を開催した	許可業者25社中、20社出席

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 市有施設のごみ排出、資源化を検証し改善指導
 担当課・係 : 総務課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
排出ゴミ資源化事業 (ごみ分別排出記録の実施 ・本庁及び各総合支所)	毎月第4水曜日(本庁舎の場合、庁舎によって異なる)	資源ごみの分別排出の徹底を図り、紙等の資源ごみ再利用推進やごみ減量化を進める。 廃棄物対策課による分別状況の点検確認及び指導を受け、分別方法等の見直し改善を実施	排出ごみを計量し、資源ごみの排出量を記録することで、資源化に対する意欲を高めている。 第3四半期現在 燃えるごみ ▲3.5% 燃えないごみ▲29.7% 燃えないごみ 3.5%

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : 事業系ごみの展開検査と分別収集指導
 担当課・係 : 廃棄物対策課 廃棄物処理対策担当係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
事業系ごみの展開検査と分別収集指導	6月19日、11月19日、	穂高クリーンセンターに搬入された事業系ごみの展開検査と分別指導を行った。	大型ごみ（ふとん等）を確認し指導した

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : ごみの減量化に向けた処理機器（生ごみ処理機、コンポスター）購入費補助
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
生ごみ処理機器等購入費補助金交付事業	随時	○生ごみ処理機器 処理機 5kg未満/日 購入費の1/2 限度額 30,000円 処理機 5kg以上/日 購入費の1/2 限度額 100,000円 容器 購入費の2/3 限度額 3,000円 ○せん定木等粉碎機 購入費の1/2 限度額 10,000円	平成25年度実施結果（H25年12月31日現在） 生ごみ処理機補助件数 74件 容器補助件数 32件 せん定木等粉碎機補助件数 13件 補助金交付総額 2,397千円

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : 生ごみの減量・資源化アドバイザーの人材育成について検討する。
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
生ごみの減量・資源化アドバイザーの人材育成	4月・11月	生ごみの減量・資源化アドバイザーの人材育成	各地区の環境部長会議においてごみの減量及び資源化についての教育を実施

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊦ ごみを減らそう
 実施内容 : 高齢者の排出支援調査研究
 (社会福祉協議会、JA あづみ等と連携)
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
高齢者の排出支援調査研究		ごみ集積所への排出が困難な高齢者の世帯への対応について、関係団体と連携し、調査・研究を行う。	現行のサービス展開において一定の効果が認められる。

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊦ ごみを減らそう
 実施内容 : 春と秋の市内一斉清掃日への対応
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
市内一斉清掃	5月26日 11月3日	県の「ごみゼロの日」及び「きれいな信州美化キャンペーン」に合わせて市内各地区の環境部・小中学校・高校等に協力を依頼し一斉清掃を実施	○5月26日 実施場所 市内各所 参加団体数 111団体 参加人数 18,700人 ○11月3日 実施場所 市内各所 参加団体数 102団体 参加人数 14,000人

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊦ ごみを減らそう
 実施内容 : 家庭から出る廃食用油を回収し手作り石鹸にして希望者に有償配布する
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
石けん加工プラント運營業務	頒布会：月1回	各地域で排出された廃食用油を市消費者の会で固形石けん・粉末石けんを製造し、頒布会・地域物産センター等で販売を行う。	H25年度実施結果（H26年1月1日現在） 石けん販売金額 155千円

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 「使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律
 (施行 平成25年4月1日)」の対応
 ・回収ボックスの設置(支所5箇所)
 試験回収により排出量等を把握し、今後の対応策の検討
 資料とする
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
使用済み小型家電回収事業	7月29日～	各総合支所に回収ボックスを設置し、使用済み小型家電の回収を実施	回収量: 約3,000 kg (H26年3月末見込)
使用済み小型家電回収事業	10月12・13日	安曇野環境フェアに合わせて使用済み小型家電の回収を実施	回収量: 3,075 kg

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 水切り道具モニター結果の検証
 ・モニター結果を参考に普及啓発方法を検討
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
生ごみ減量モニタリング事業	H24年12月～ H25年11月	応募により申込みがあった方を対象に H24 年 12 月から H25 年 11 月までの間で1週間分の生ごみ減量計量を行い、年4回計量結果をモニタリングする。	○生ごみカット 10名から調査結果を受領 ○しぼりっ子 7名から調査結果を受領

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 粗大ごみ及び処理困難物の収集・運搬・処理体系構築
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
粗大ごみ及び処理困難物の収集・運搬・処理体系構築	7月～	各総合支所に「使用済み小型家電」回収ボックスを設置し回収を実施	従来、粗大ごみとして処理されていた小型家電機器等を「使用済み小型家電」として回収を開始し、市民の負担軽減と資源化促進を図ることができた。 平成26年3月末時点での見込回収量: 約6,000kg
	10月12・13日	10月12・13日安曇野環境フェアに合わせて「使用済み小型家電」全品目を対象とした試験回収を実施(回収量: 3,075 kg)	

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : 「段ボールコンポスト講習会」を開催し普及を図る。
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
段ボールコンポスト講習会	11月16日 3月21日(予定)	豊科リサイクルセンターで環境学習会を開催し、段ボールコンポスト講習会を実施	○段ボールコンポスト講習会 11月16日:参加者12名 3月21日:参加者5名(予定)

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ⑨ ごみを減らそう
 実施内容 : ごみの適正分別指導・啓発
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
広報及び市ホームページ掲載	4月～	家庭ごみ・資源物の分別等について広報及び市ホームページに掲載	○広報掲載:4、7、10、12月 ○ホームページ掲載:年間
小中学校との連携の環境教育	随時	3R促進ポスターコンクールのポスター募集 市内一斉清掃参加依頼	穂高南小学校から応募あり 市内小中学校・高校より延べ1,820人参加
区や環境部からの要請により現場にて対応	随時	区・環境部からの要請により、ごみ・資源物集積所等において巡回指導等を実施	巡回指導等を実施
区や環境部等からの出前講座	随時	区・環境部等からの要請により、出前講座・ごみの排出方法等の説明を実施	出前講座実施(2回)1月27日、2月15日 環境部長会議(5回)
市主催のイベントを活用して情報提供	10月12・13日	安曇野環境フェアにおいて、資源ごみの分別方法・リサイクルの流れ等を展示	10月12日・13日開催の安曇野環境フェアにおいて展示
不適切な排出に「注意シール」添付	随時	ごみ・資源物集積所等において不適切排出に「注意シール」を添付し啓発を実施	「注意シール」添付指導実施

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : 家庭から出る廃食用油を回収し BDF 製造装置で処理し燃料化する。
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
廃食用油回収	H25 年 4 月 ～12 月	各家庭から排出される廃食用油を回収する。	○回収量 : 3,1500
バイオディーゼル燃料製造	11 月 5 日～ 12 月 26 日	家庭から出る廃食用油を元にバイオディーゼル燃料を製造する。	○バイオディーゼル燃料製造量 : 2000 (販売先・受入先が極めて少ない)

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : 排出量の管理
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
排出量管理	随時	家庭系可燃ごみ・事業系可燃ごみの排出量管理	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系可燃ごみ排出量 10,477 t /H25.4～12 (前年比-0.2%) ・105.6 kg/一人当たり年間排出量 (H25.4～12) (人口推計 : 99,200 人) ・事業系可燃ごみ排出量 7,373 t /H25.4～12 (前年比-0.3%)

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊸ ごみを減らそう
 実施内容 : 不法投棄防止パトロール
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
不法投棄防止パトロール	随時	市委嘱監視員 12 名による市内不法投棄防止パトロール	パトロール時間 : 延べ 685 日、1,940 時間

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊦ ごみを減らそう
 実施内容 : 廃却・放置自転車の修理再生販売
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
リサイクル自転車販売	10月12日 3月21日 (予定)	廃却・放置自転車等を修理再生を行い、10月12日開催の安曇野環境フェアにおいて展示販売を実施 3月21日に豊科リサイクルセンターで頒布会を実施	○リサイクル自転車販売 10月12日：自転車31台を販売 3月21日：30台頒布予定

環境基本計画年次計画重点プロジェクト実施結果報告書

重点プロジェクト名 : ㊦ ごみを減らそう
 実施内容 : 「緑のリサイクル(家庭からの剪定枝のチップ化)」事業について実施する。
 担当課・係 : 廃棄物対策課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
緑のリサイクル事業	4月～11月	宅内から排出された庭木のせん定枝をチップ化して資源として有効活用する。(処理料金及びチップは無料)	○処理量：85,365 kg (作成チップ量)

⑩環境について教え学び、取り組む仕組みづくり

環境基本計画年次計画重点PJ実施結果報告書

重点PJ名 : (10) 環境について教え学び、取り組む仕組みづくり
 実施内容 : ●環境に関する情報の整備と発信
 ①「広報あづみの」による広報
 ②あづみ野エコプラン.netの整備と活用
 ③市立図書館での環境関連図書の充実
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①「広報あづみの」による 広報	5月22日 6月19日 7月24日 9月4日 12月4日 平成26年1月22日	「緑のカーテン」・「安曇野環境フェア」実行委員会募集 「特定外来生物」 「安曇野環境フェア」出展者募集 「マイマイガ」 「緑のカーテンコンテスト」受賞者発表 「環境家計簿」モニター募集	6回実施
②あづみ野エコプラン.netの整備と活用	7月1日	ホームページのリニューアル	実施
③市立図書館での環境関連図書の充実	通年	環境関連図書の購入	40冊の購入

環境基本計画年次計画重点PJ実施結果報告書

重点PJ名 : (10) 環境について教え学び、取り組む仕組みづくり

実施内容 : ●環境学習の推進と人材育成

①安曇野環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供、更新

②各種研修会への参加呼びかけと開催

③小中学校での実施

④公民館講座等での実施

⑤安曇野環境フェアへの参加

⑥協働のまちづくり出前講座の利用

担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
①安曇野環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供、更新	3月28日	・「安曇野環境市民ネットワーク 団体活動紹介・環境学習プログラム」冊子印刷	小学校・中学校及び環境フェアで配布
②各種研修会への参加呼びかけと開催	6月22日	・「安曇野環境市民ネットワーク」主催による「スキルアップセミナー」開催 第1回「イマドキの子ども達に、伝わる教育って？」 講師：榎オン・ウィップス代表 田口 真嗣氏	参加人数 15人
	1月18日	第2回「教える側のコツ」 講師：持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪ 代表 山田 勇氏	参加人数 10人
	6月22日 7月6日	・環境カフェの開催 第1回は第1回スキルアップセミナーと兼ねる 第2回「安曇野の土と水と人と」「ホテルの生態と保全」 話題提供者：NPO法人 川の自然と文化研究所	参加人数 60人
③小中学校での実施	8月9日	第3回「安曇野市の地球温暖化対策実行計画について」 話題提供者：安曇野市地球温暖化防止活動推進員協議会 長野県環境部温暖化対策課の出前講座 「長野県の環境エネルギー戦略」	参加人数 13人
	9月13日	第4回「地域の宝探しとネットワークづくり」 話題提供者：NPO安曇野ふるさとづくり応援団	参加人数 12人
	12月13日	第5回「地域づくろい」 話題提供者：アルプス花街道実行委員会	参加人数 11人
	平成26年1月10日	第6回「松枯れへの取り組み」 話題提供者：あづみの再活の松プロジェクト	参加人数 8人
	2月14日	第7回「外来植物について～特定外来植物～」 話題提供者：安曇野緑の会	大雪のため延期
④公民館講座等での実施	5月27日 6月3日 6月17日 7月1日 7月8日 9月2日 9月9日 9月24日 9月26日 10月21日	・明科中学校 総合的な学習の時間「ホームタウン明科」 開校式 ワークショップ 特定外来植物 昆虫観察 地下水について 水生生物観察 松枯れについて 火おこし・ぬかくど まとめ 閉講式	生徒数 12人
	通年	・各小中学校での環境教育の実施 豊科南小学校：29日 豊科南中学校：43日 豊科北小学校：6日 穂高西中学校：7日 豊科東小学校：10日 三郷中学校：60日 穂高南小学校：31日 堀金中学校：6日 穂高北小学校：2日 明科中学校：25日	計 255日実施
⑤安曇野環境フェアへの参加	10月12日・13日	環境フェアの開催	1,500名の参加・64団体の展示
⑥協働のまちづくり出前講座の利用	7月3日 平成26年2月7日	・地下水保全講座「安曇野の水資源を次世代へ」	参加人数 40人 参加人数 40人
	平成26年1月24日 2月15日	・「資源物の分別とそのゆくえ」	参加人数 25人 参加人数 20人

⑪環境マネジメントシステム（EMS）の導入を促進する

環境基本計画年次計画重点PJ実施結果報告書

重点PJ名 : ⑪環境マネジメントシステム（EMS）の導入を促進する
 実施内容 : ●庁内EMSの検討
 ・所管課の決定/導入スケジュールの検討
 ・平成26年度予算計上/職員の環境教育の状況把握
 担当課・係 : 生活環境課・環境基本計画推進係

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
庁内EMSの検討 ・所管課の決定 ・導入スケジュールの検討 ・平成26年度予算計上 ・職員の環境教育の状況把握	6月 6月～10月 平成26年3月 通年 通年 4月～7月 6月・10月	省エネ行動の推進 「安曇野市地球温暖化防止実行計画」の実践 庁舎等のエネルギー使用量の報告 前年度分のまとめ ノーマイカー通勤の実施と結果の周知	総務部総務課に決定 H26：庁内調整会議での検討、導入システムの検討、日程の確認 H27：(前期)組織の立ち上げ、データ収集、初期診断 (中期)実施、課題の洗い出し (後期)審査、認証、契約、登録 H28～30：実施、認証要件に従った分析、公表、改善の取組 計上無[政策会議等内部調整の実施] 照 明：昼食休憩時、来庁者のいない部署は消灯 冷暖房：冷房28℃、暖房20℃になるようこまめに設定 自動車：アイドリング・ストップ、エコドライブの徹底、エコ車両への更新 H24実績温室効果ガス8.13%増 【対H20年度比 ▲6.1%減が目標値】 電気・LPガス・灯油・重油・ガソリン・軽油について、各施設の使用量を月ごとに報告 前年度分をまとめ、使用量・CO2排出量を周知 秋(9月～10月)の年1回の「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」と市独自の春(5月～6月)に週2回以上の参加をするノーマイカー通勤を実施。 (春)のべ参加人数：1,046人 CO2削減量：2,668.6kg (秋)のべ参加人数：742人 CO2削減量：1,809.2kg

環境基本計画年次計画重点PJ実施結果報告書

重点PJ名 : ①環境マネジメントシステム (EMS) の導入を促進する
 実施内容 : ●市内導入 EMS を考慮した安曇野版 EMS の推進会議での検討
 (構築の必要性、構築時期を含めた検討)
 ・自治体独自の EMS の内容把握と効果と課題の把握
 ①「塩尻環境スタンダード」(塩尻市)
 ②「南信州いいむす21」(南信州広域連合)
 ①②の中小企業向け独自 EMS の内容把握と運用状況の把握 (利点と課題)
 ・市内企業の EMS 加入状況の把握
 (ISO14001、エコアクション21、KES 等把握可能な EMS)
 担当課・係 : 生活環境課

実施事業名	実施日	事業概要	実施結果等
自治体独自の EMS の内容把握と効果と課題の把握 ①「塩尻環境スタンダード」(塩尻市) ②「南信州いいむす21」(南信州広域連合) ①②の中小企業向け独自 EMS の内容把握と運用状況の把握 (利点と課題)	平成 25 年 12 月 13 日	塩尻市市民環境事業部生活環境課 訪問	塩尻環境スタンダード 運用主体 市 ・中小事業者向けローカル環境マネジメントシステム ・登録審査費用がかからない快適なマネジメントシステム ・現在市内 40 事業所で実施 ・ISO14001 を基に作ってある (マニュアル・内部監査) ・書類の簡略化が図られ内部監査が必須ではない 利点 ・補助金該当事業であり、登録審査費用は無料。 ・ブランド化。企業のイメージアップ。 ・社員教育の推進 課題 ・40 社を市の職員 2 人が担当している。負担が大きい。
自治体独自の EMS の内容把握と効果と課題の把握 ①「塩尻環境スタンダード」(塩尻市) ②「南信州いいむす21」(南信州広域連合) ①②の中小企業向け独自 EMS の内容把握と運用状況の把握 (利点と課題)	平成 25 年 12 月 20 日	飯田市水環境部地球温暖化対策課 ISO 推進係訪問	南信州いいむす21 ・運用主体 「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」が自主的に運用している。 飯田下伊那地域の 31 事業所が自主的・主体的に運営。 ・認証登録費用 3 年に 1 度 初級中級 3,000 円 上級 5,000 円 南信州宣言 1 万円 ・ISO14001 の簡易なシステム ・事務所の実情に合わせて無理せず計画を立て、環境改善活動を実施 ・地域ぐるみで環境保全に挑戦する南信州地域独自の活動 取り組みメリット ・環境保全の推進 (PDCA) ・取り組みやすいステップアップ方式) ・経営改善への効果 ・信頼度の向上・イメージアップ ・「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」から指導、助言、訪問支援が受けられる。 ・長野県の建設工事入札参加審査において有利 課題 ・拡大はしたいが審査体制が追いつかない ・このシステムの根幹は民間スタートである。民間の方々が主導していく形を取りながら行政がどのような支援をしていくかという方向探っていくかなければいけない。